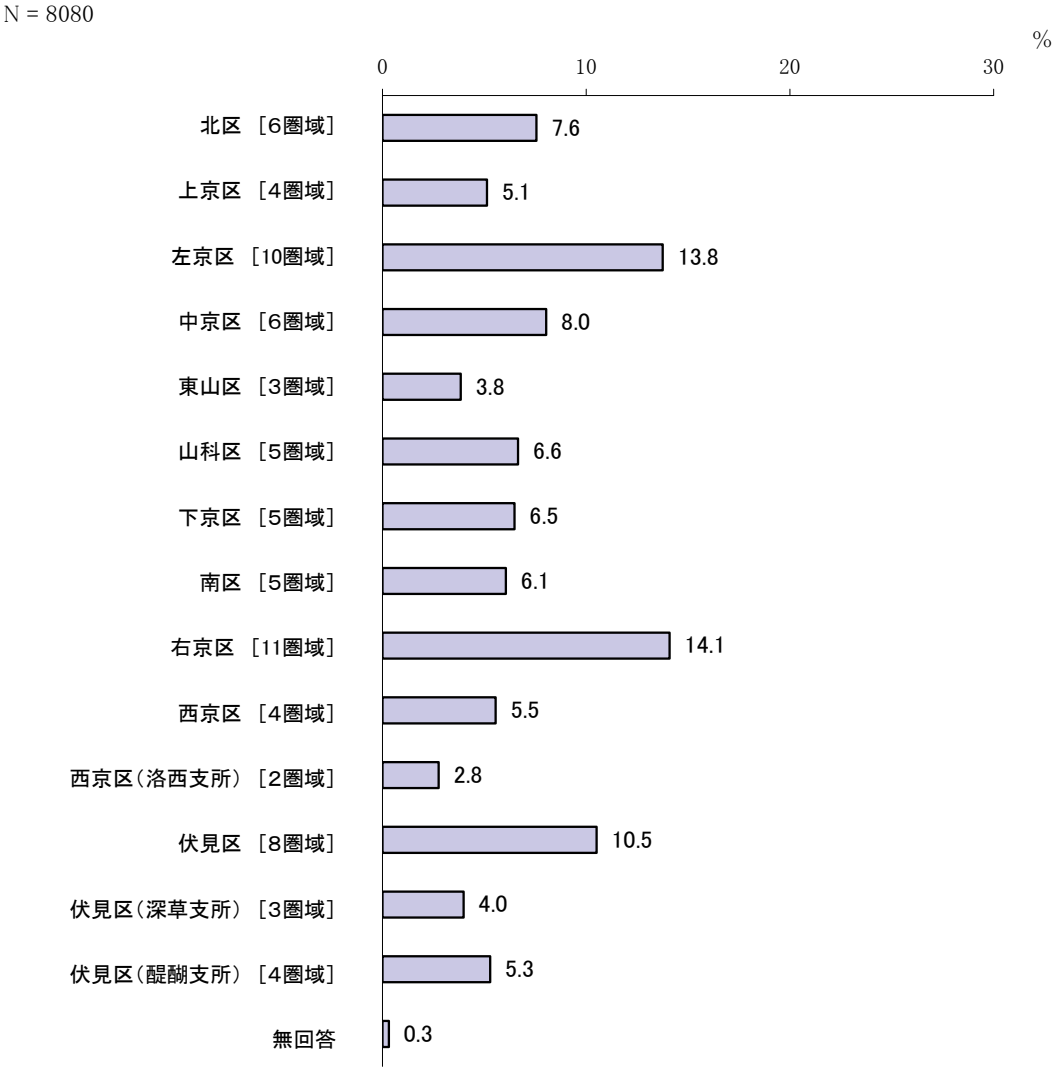
第２章　高齢者調査の結果

1　回答者の基本属性

（１）回答者の属する行政区・支所

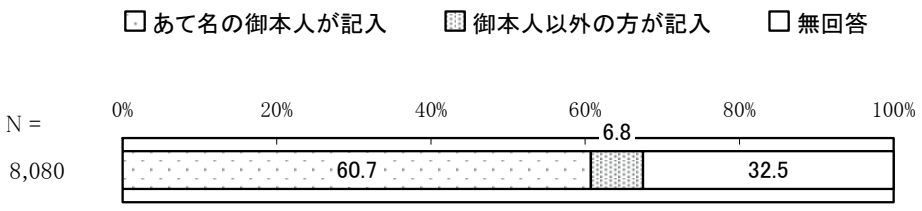
回答者の割合は，日常生活圏域数の多い「右京区」，「左京区」で高くなっています。



（２）調査票記入者

Ｑ　調査票を記入された方をお教えください。＜あてはまる方に○を付けてください。＞

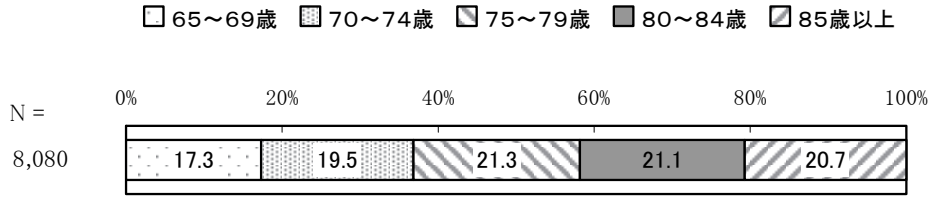
調査票の記入者は，「あて名の御本人が記入」が 60.7%，「御本人以外の方が記入」が 6.8%となっています。



（３）年齢

問１Ｑ１．あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の年齢をお教えください。＜○は１つ＞

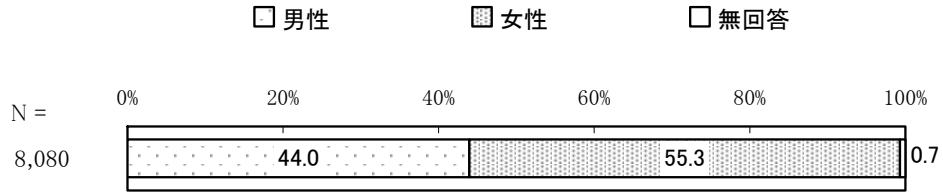
回答者の年齢は，「７５～７９歳」が 21.3%と最も高く，次いで「８０～８４歳」が 21.1%，「８５歳以上」が 20.7%となっています。



（４）性別

問１Ｑ２．あなたの性別をお教えください。＜○は１つ＞

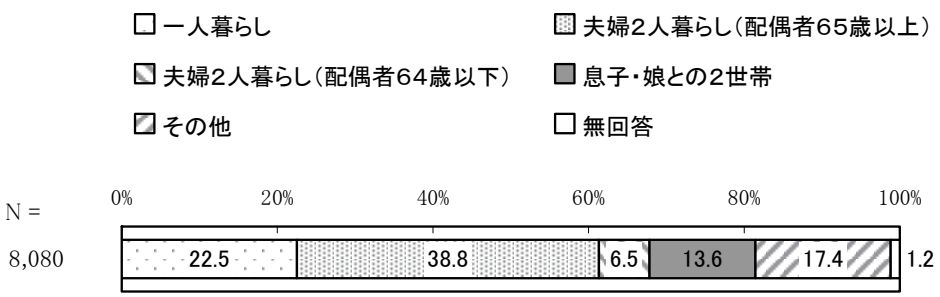
回答者の性別は，「男性」が 44.0%，「女性」が 55.3%となっています。



（５）家族構成

問１Ｑ３．あなたの家族構成をお教えください。＜○は１つ＞

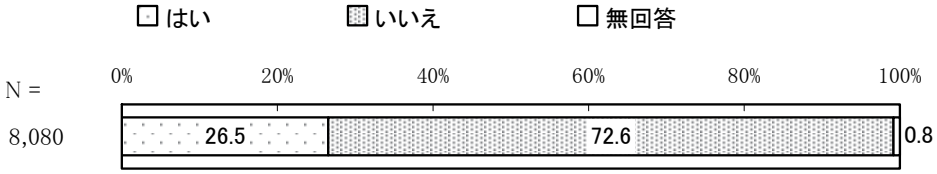
回答者の家族構成は，「夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）」が 38.8%と最も高く，次いで「一人暮らし」が 22.5%，「息子・娘との２世帯」が 13.6%となっています。



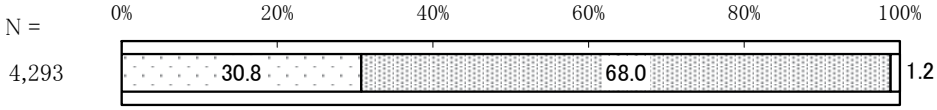
（６）収入になる仕事の有無

問１Ｑ４．あなたは現在収入になる仕事をしていますか。＜○は１つ＞

収入になる仕事の有無については，「はい」が 26.5%，「いいえ」が 72.6%となっています。
前回調査と比較すると，大きな差異は見られません。



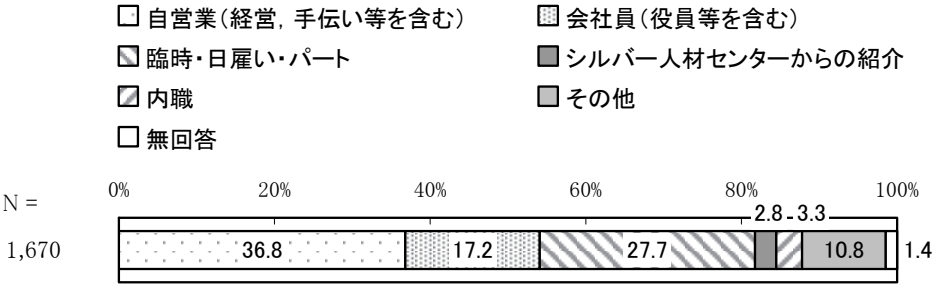
【前回調査（平成 25 年)】



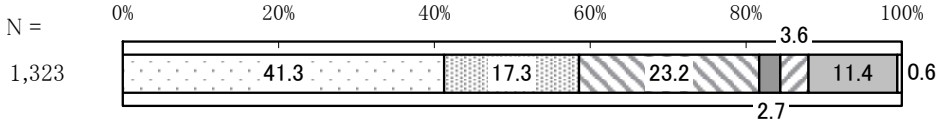
（７）主な就労形態

問１Ｑ４－１．Ｑ４で「１．はい」と回答した方にお聞きします。主な就労形態は，次のどれですか。＜○は１つ＞

主な就労形態は，「自営業（経営，手伝い等を含む)」が 36.8%と最も高く，次いで「臨時・日雇い・パート」が 27.7%，「会社員（役員等を含む)」が 17.2%となっています。
前回調査と比較すると，大きな差異は見られません。



【前回調査（平成 25 年)】



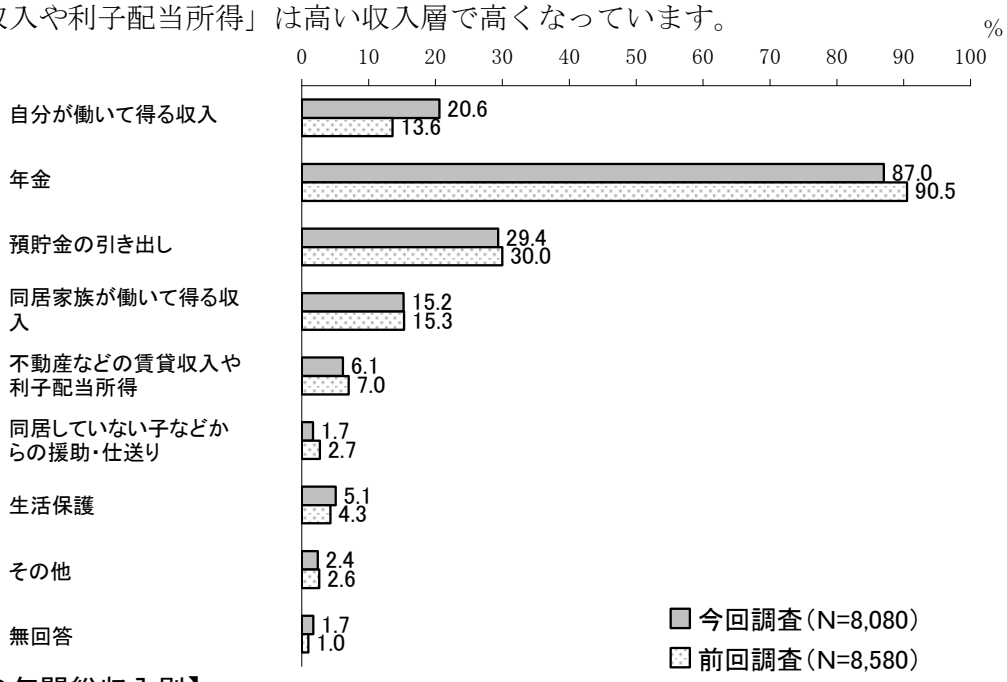
（８）生活費の収入源

問１Ｑ５．あなたは生活費をどのようにして得ていますか。＜○は３つまで＞

生活費の収入源については,「年金」が 87.0%と最も高く,次いで「預貯金の引き出し」が 29.4%,「自分が働いて得る収入」が 20.6%となっています。

前回調査と比較すると,「自分が働いて得る収入」が 7.0 ポイント増加しています。

個人の年間総収入別でみると，個人の年間総収入が上がるにつれ,「自分が働いて得る収入」の割合が高くなっています。「年金」は高い収入層を除いて 9 割程度と基幹的収入となっていることがわかります。「預貯金の引き出し」は低い収入層で割合が高くなっており,「不動産などの賃貸収入や利子配当所得」は高い収入層で高くなっています。



【個人の年間総収入別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	自分が働いて得る収入	年金	預貯金の引き出し	同居家族が働いて得る収入	不動産などの賃貸収入や利子配当所得	同居していない子などからの援助・仕送り	生活保護	その他	無回答
50 万円未満	563	6.4	79.0	29.8	20.1	1.8	4.3	8.3	4.8	1.4
50 万円～100 万円未満	1,834	6.8	89.9	35.8	20.1	1.6	2.6	3.8	3.3	1.6
100 万円～200 万円未満	2,466	13.6	92.4	28.3	11.6	3.5	2.4	4.9	1.9	1.1
200 万円～300 万円未満	1,657	15.0	95.4	29.4	8.3	6.6	1.0	0.2	2.1	1.1
300 万円～400 万円未満	559	30.6	90.0	29.9	10.0	16.6	0.7	0.2	0.9	2.5
400 万円～500 万円未満	187	50.8	87.7	19.3	8.6	26.7	1.1	－	1.1	3.2
500 万円～600 万円未満	104	54.8	76.9	16.3	4.8	39.4	－	－	2.9	－
600 万円～700 万円未満	71	53.5	73.2	22.5	5.6	29.6	－	－	－	7.0
700 万円以上	160	63.1	58.8	11.3	8.1	37.5	－	－	1.9	5.0
無回答	582	6.5	58.4	20.4	11.3	5.0	2.9	18.7	3.1	10.7

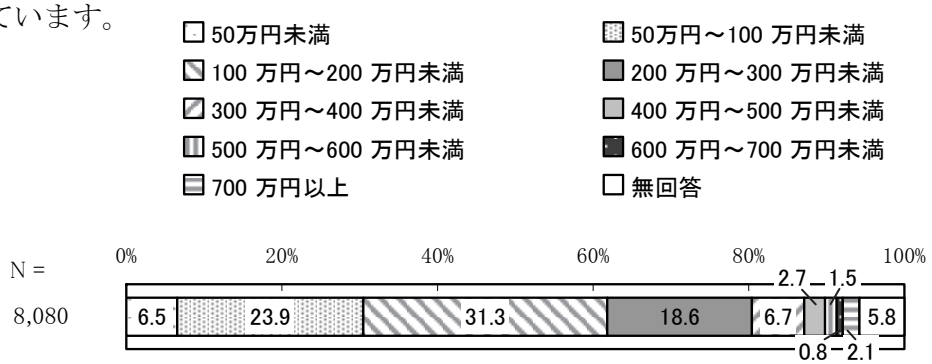
（９）個人の年間総収入

問１Ｑ６．あなたの個人の年間総収入（年金収入を含む。税込。）はどのくらいですか。
＜○は１つ＞

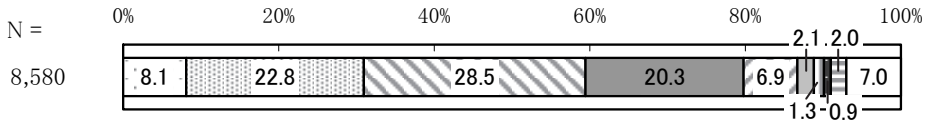
個人の年間総収入については，「100 万円～200 万円未満」が 31.3%と最も高く，次いで「50 万円～100 万円未満」が 23.9%，「200 万円～300 万円未満」が 18.6%となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。

生活費の収入源別でみると，「自分が働いて得る収入」では 100 万円～300 万円未満が，「年金」は 50 万円～300 万円未満がそれぞれ 20%以上と他に比べて高くなっています。「預貯金の引き出し」，「同居家族が働いて得る収入」，「同居していない子などからの援助・仕送り」ではそれぞれ 50 万円～200 万円未満が 20%以上と高くなっています。「不動産などの賃貸収入や利子配当所得」では 200 万円～300 万円未満が 20%以上，「生活保護」は 100 万円～200 万円未満が 30%以上と高くなっています。



【前回調査（平成 25 年）】



【生活費の収入源別】

単位：%

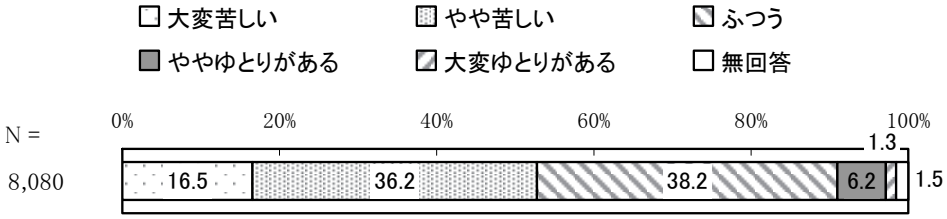
区分	有効回答数（件）	５０万円未満	１５０万円～１００万円未満	２１００万円～２００万円未満	３２００万円～３００万円未満	４３００万円～４００万円未満	５４００万円～５００万円未満	６５００万円～６００万円未満	７６００万円～７００万円未満	７００万円以上	無回答
自分が働いて得る収入	1,662	2.5	9.0	28.6	20.2	14.9	8.4	4.6	2.8	6.7	2.4
年金	7,029	5.8	24.6	33.1	20.2	6.7	2.7	1.3	0.6	1.3	3.8
預貯金の引き出し	2,373	6.0	29.4	31.8	18.8	6.4	1.2	0.8	0.5	0.5	4.6
同居家族が働いて得る収入	1,229	9.5	36.3	27.3	12.6	5.5	2.2	0.6	0.5	0.9	4.6
不動産などの賃貸収入や利子配当所得	495	1.6	5.9	16.8	23.2	16.8	10.7	8.5	2.4	10.5	3.6
同居していない子などからの援助・仕送り	138	15.9	24.6	37.7	8.7	2.2	1.4	－	－	－	9.4
生活保護	410	14.1	18.0	36.1	0.7	－	－	－	－	－	31.0
その他	193	13.0	33.2	22.3	16.6	2.1	1.6	1.0	0.0	2.1	8.3

（10）経済的にみた現在の暮らしの状況

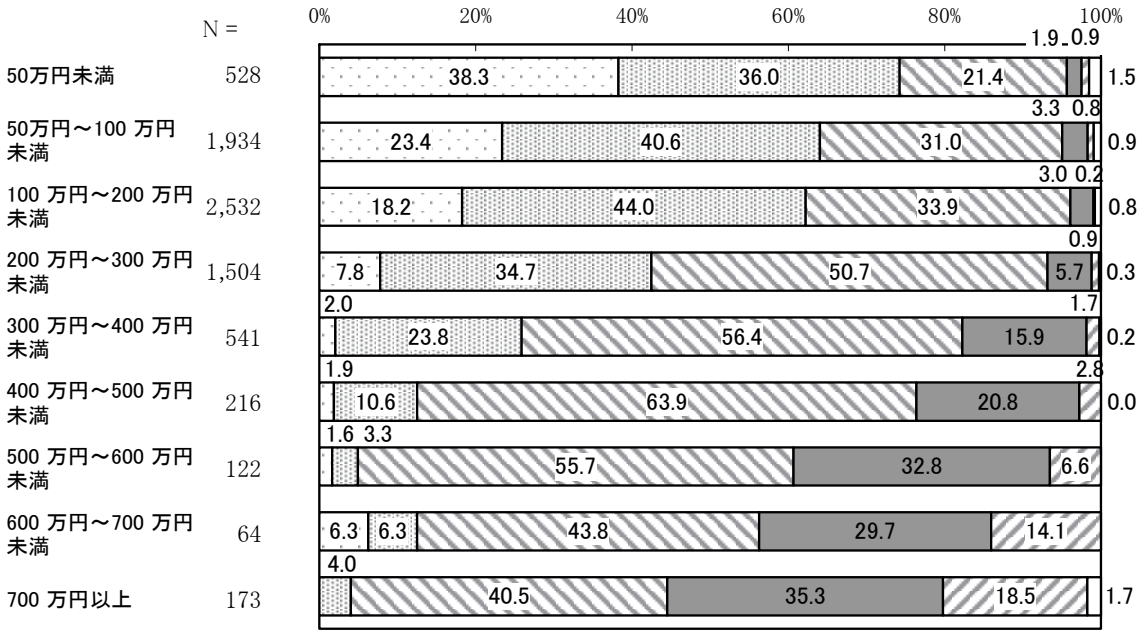
問１Ｑ７．あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
＜○は１つ＞

経済的にみた現在の暮らしの状況については，「ふつう」が 38.2%と最も高く，次いで「やや苦しい」が 36.2%，「大変苦しい」が 16.5%となっています。

個人の年間総収入別でみると，概ね年間総収入が減少するほど，「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合が高くなっています。



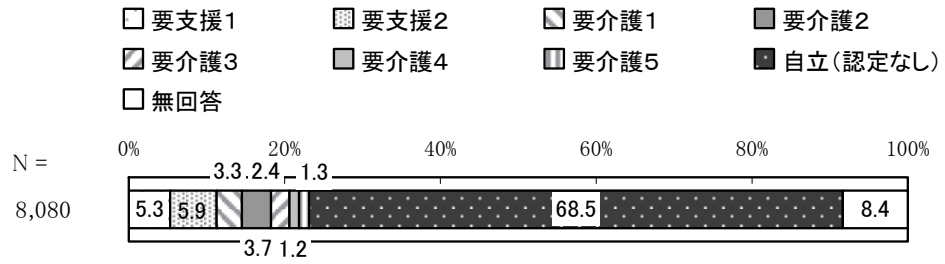
【個人の年間総収入別】



（11）要介護認定の状況

問１Ｑ８．あなたの要介護認定区分は次のどれにあてはまりますか。＜○は１つ＞

回答者の要介護度については，「自立（認定なし）」が 68.5%と最も高くなっています。



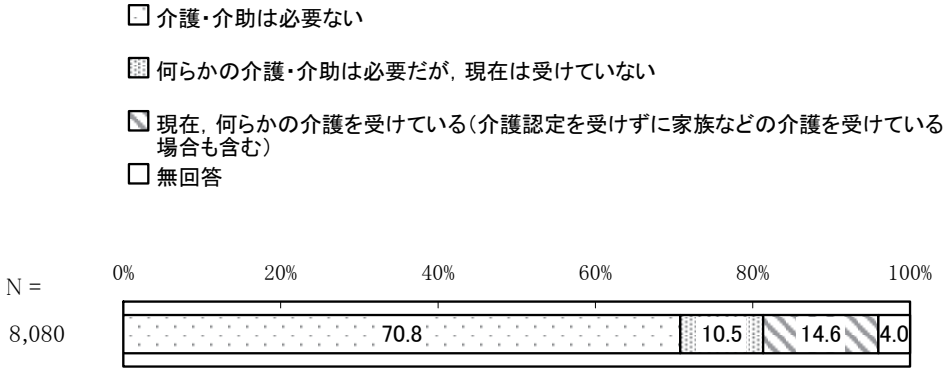
（12）介護・介助の必要の有無

問１Ｑ９．あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。＜○は１つ＞

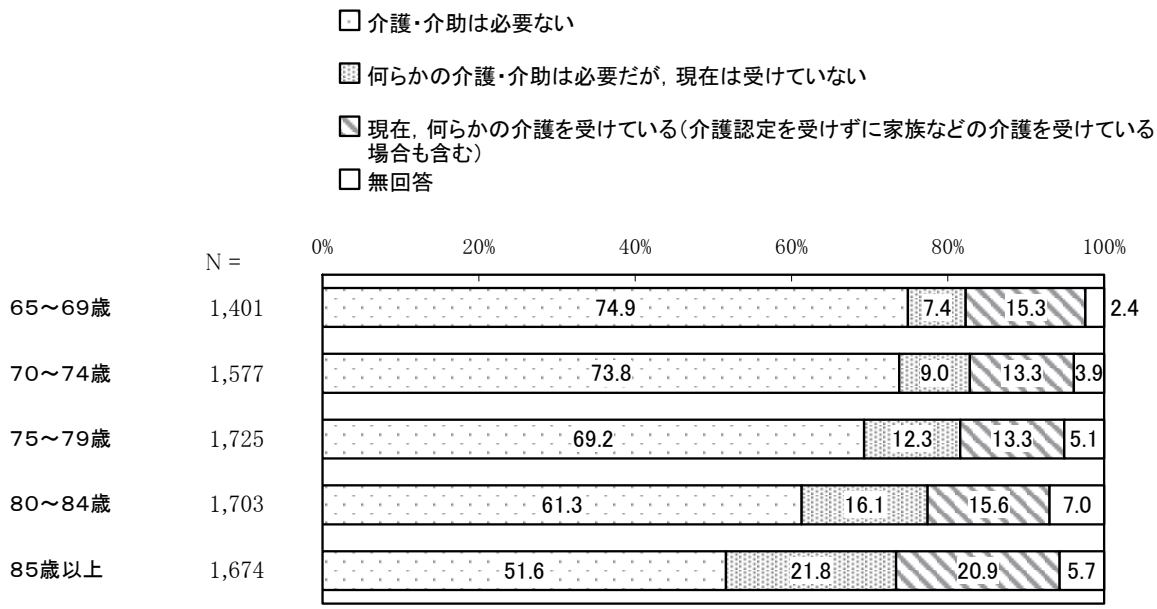
「普段の生活でどなたかの介護・介助が必要か」については，「介護・介助は必要ない」が 70.8%と最も高く，次いで「現在，何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 14.6%，「何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない」が 10.5%となっています。

年齢別でみると，概ね年齢が上がるとともに「介護・介助は必要ない」の割合が低くなり，「何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない」，「現在，何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっています。

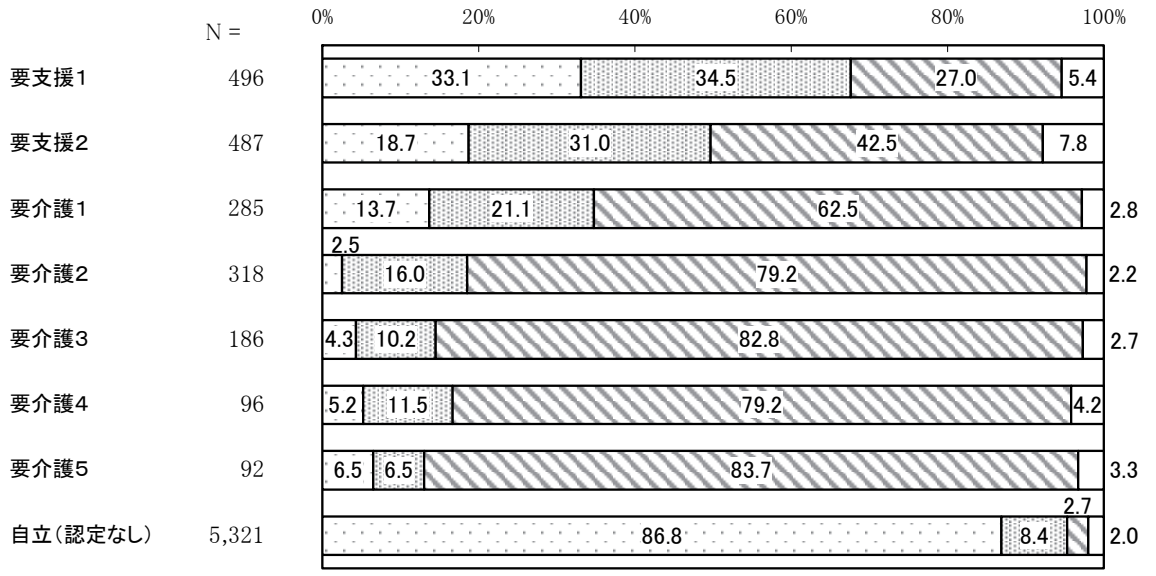
要介護度別でみると，概ね要介護度が上がるとともに「現在，何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっており，要介護２以上で約８割となっています。



【年齢別】


□ 介護・介助は必要ない
▨ 何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない
▩ 現在，何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
□ 無回答
N =
0%
20%
40%
60%
80%
100%
65～69歳 1,401 74.9 7.4 15.3 2.4
70～74歳 1,577 73.8 9.0 13.3 3.9
75～79歳 1,725 69.2 12.3 13.3 5.1
80～84歳 1,703 61.3 16.1 15.6 7.0
85歳以上 1,674 51.6 21.8 20.9 5.7

【要介護度別】


N =
0%
20%
40%
60%
80%
100%
要支援1 496 33.1 34.5 27.0 5.4
要支援2 487 18.7 31.0 42.5 7.8
要介護1 285 13.7 21.1 62.5 2.8
要介護2 318 2.5 16.0 79.2 2.2
要介護3 186 4.3 10.2 82.8 2.7
要介護4 96 5.2 11.5 79.2 4.2
要介護5 92 6.5 6.5 83.7 3.3
自立（認定なし） 5,321 2.7 86.8 8.4 2.0

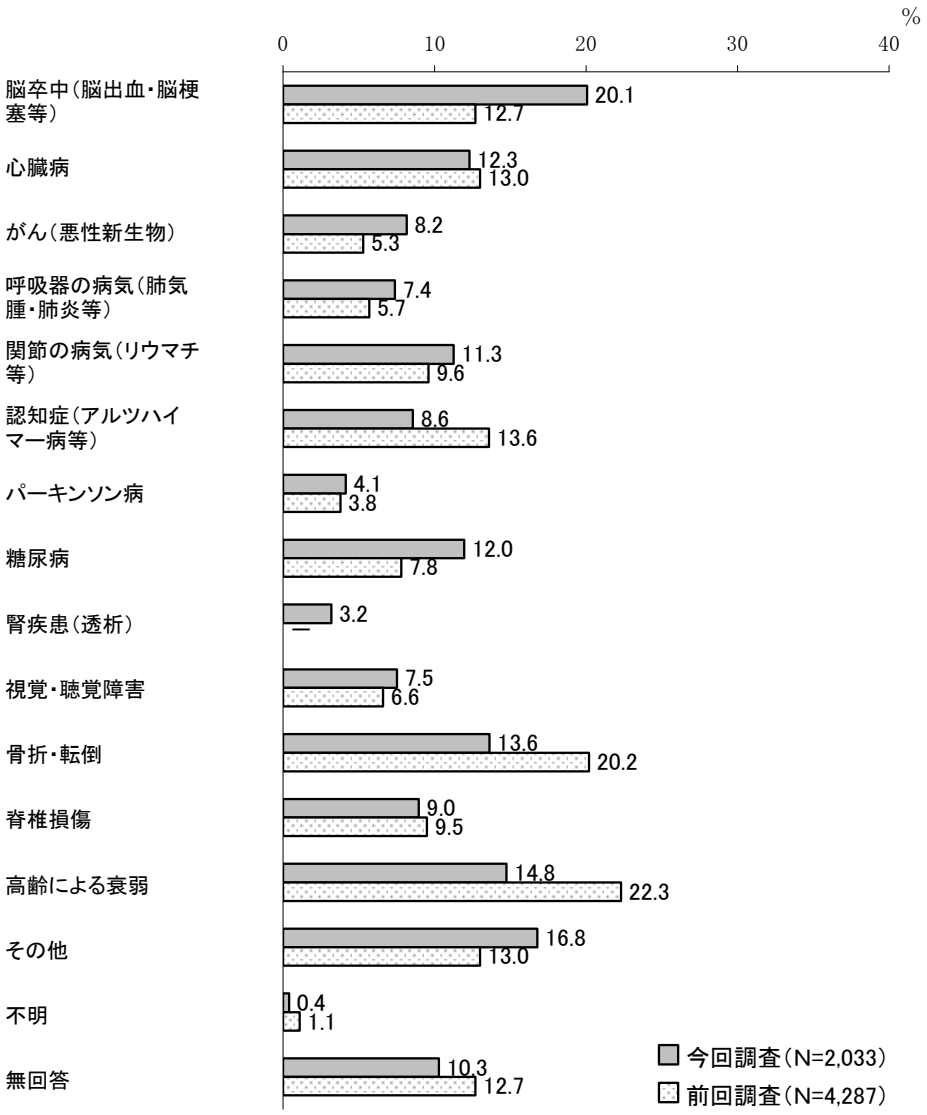
（13）介護・介助が必要になった原因

問１Ｑ９－１．Ｑ９で「２．何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない。」又は，「３．現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。＜あてはまるものすべてに○＞

介護・介助が必要になった原因については，「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 20.1％と最も高く，次いで「高齢による衰弱」が 14.8％，「骨折・転倒」が 13.6％となっています。

年齢別でみると，「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。一方，「認知症（アルツハイマー病等）」，「視覚・聴覚障害」，「骨折・転倒」，「高齢による衰弱」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

要介護度別でみると，「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は要介護３～５で高く，「認知症（アルツハイマー病等）」は要介護２以上で高くなっています。「骨折・転倒」，「高齢による衰弱」はいずれの要介護度でも高い割合を占めています。



※　前回の調査対象者はサービス利用者，未利用者となっています。

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
65～69 歳	637	27.0	7.9	9.7	7.9	11.9	8.5	3.8	11.0	4.1	4.7	10.4	9.4	4.7	20.8	0.6	8.5
70～74 歳	525	25.6	15.1	8.5	7.1	10.2	7.4	6.3	13.9	4.0	7.7	12.5	8.8	11.1	17.0	0.0	8.2
75～79 歳	423	13.8	12.6	7.7	7.9	12.6	8.1	3.8	11.3	1.6	8.1	14.9	9.7	16.7	17.8	0.0	12.6
80～84 歳	280	11.3	15.4	6.5	7.2	12.2	10.0	2.8	13.9	3.3	10.0	17.8	9.3	25.0	10.6	0.9	12.2
85 歳以上	168	6.9	14.3	5.2	5.3	6.7	11.3	2.0	8.1	1.1	12.3	19.3	5.0	42.4	8.8	1.1	14.0

【要介護度別】

単位：%

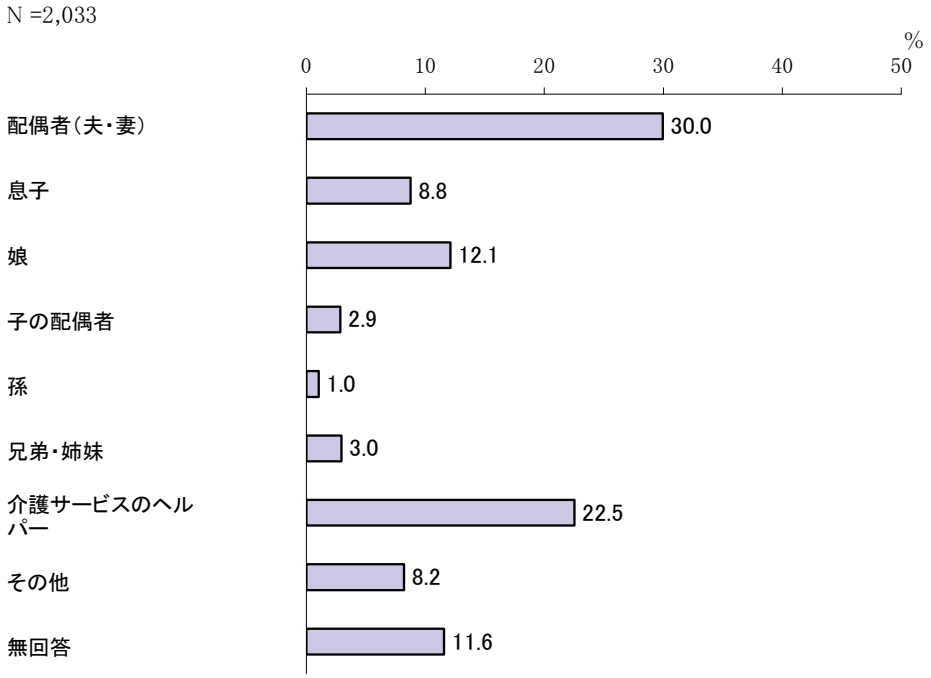
区分	有効回答数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援1	430	12.9	11.8	6.1	6.0	9.0	8.3	3.0	9.8	2.2	8.2	13.9	6.9	21.1	12.0	0.6	10.4
要支援2	480	8.2	14.8	7.2	6.9	11.8	2.3	3.0	12.5	2.3	7.2	17.8	11.8	21.4	20.1	1.0	8.2
要介護1	265	12.6	13.6	6.9	5.0	13.6	3.2	3.4	10.3	2.9	7.1	13.6	12.6	16.8	15.2	0.0	11.3
要介護2	301	12.4	15.7	9.3	8.8	10.0	17.7	3.6	12.1	3.3	8.4	18.1	6.0	21.3	12.4	0.4	4.8
要介護3	191	24.7	13.0	8.9	7.2	11.0	17.9	4.5	16.1	3.4	11.3	19.5	10.6	24.0	14.0	0.3	6.8
要介護4	97	33.9	12.9	4.7	4.1	9.3	22.8	7.0	12.9	1.7	6.5	21.7	7.0	18.1	10.5	0.0	7.0
要介護5	105	40.8	5.3	6.5	7.9	7.9	18.4	9.2	9.2	3.9	5.3	27.6	1.3	27.6	9.2	0.0	11.8

（14）主な介護・介助者

問１Ｑ９－２．Ｑ９で「２．何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない。又は，３．現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。主にどなたの介護，介助を受けていますか。＜あてはまるものすべてに○＞

主な介護・介助者については，「配偶者（夫・妻)」が 30.0％と最も高く，次いで「介護サービスのヘルパー」が 22.5％，「娘」が 12.1％，「息子」が 8.8％となっています。

年齢別でみると，「配偶者（夫・妻)」，「介護サービスのヘルパー」は年齢が上がるとともに低くなる一方，「息子」，「娘」の割合は年齢が上がるとともに高くなっています。



【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
65～69 歳	637	47.2	7.9	10.4	3.1	0.3	6.9	34.6	12.9	11.9
70～74 歳	525	44.0	9.4	13.4	1.7	1.1	4.0	32.7	11.4	15.6
75～79 歳	423	38.1	11.5	18.5	2.5	1.8	1.8	30.0	10.4	18.1
80～84 歳	280	31.5	17.4	22.0	6.9	2.0	2.4	22.8	7.0	18.5
85 歳以上	168	19.6	24.5	31.0	11.5	3.6	0.8	17.8	10.8	16.8

２　お住まいについて（問２）

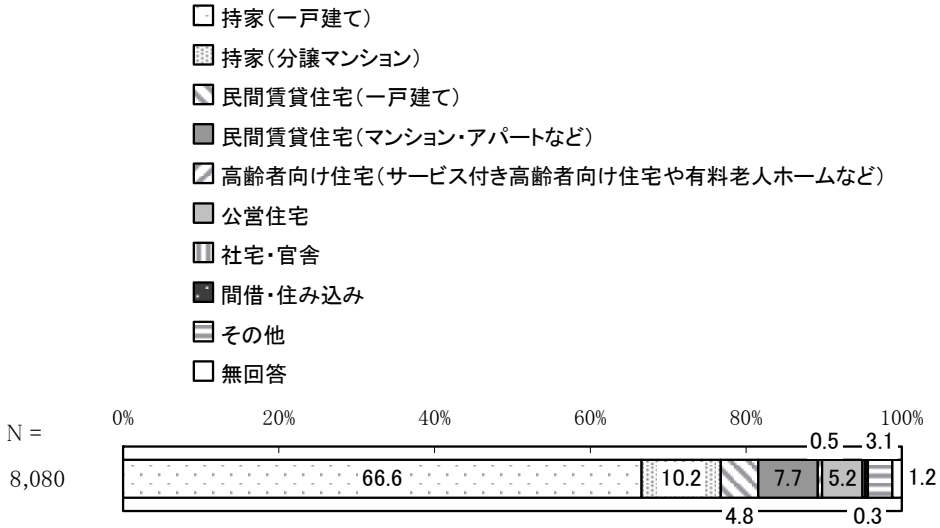
（１）住居形態

問２Ｑ１．あなたの現在のお住まいは，次のどれにあたりますか。＜○は１つ＞

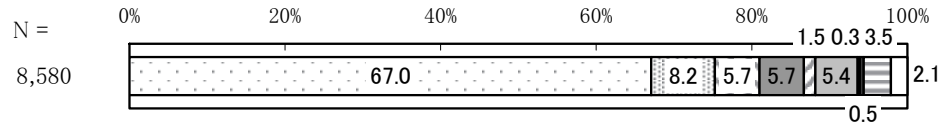
住居形態については，「持家（一戸建て）」が 66.6％と最も高く，次いで「持家（分譲マンション）」が 10.2％，「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が 7.7％となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。

家族構成別でみると，「持家（一戸建て）」は，「一人暮らし」では 42.9％と，「家族などと同居」より 30.6 ポイント低くなっています。一方，「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」は，「一人暮らし」では 21.8％と，「家族などと同居」より 18.2 ポイント高くなっています。



【前回調査（平成 25 年）】



【家族構成別】

単位：％

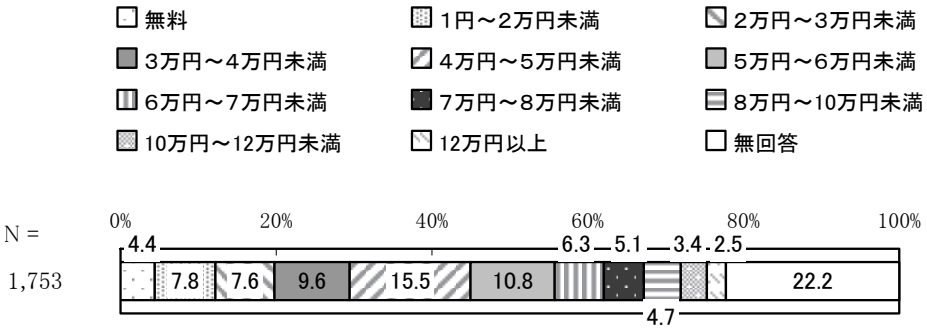
区分	有効回答数（件）	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
一人暮らし	1,819	42.9	13.0	5.6	21.8	1.5	8.6	0.3	0.7	3.8	1.9
家族などと同居（二世帯住宅を含む）	6,166	73.5	9.4	4.6	3.6	0.2	4.2	0.4	0.2	2.9	0.9

（２）現在の住まいに係る居住費

問２Ｑ１－１．Ｑ１で「３．民間賃貸住宅（一戸建て）」～「９．その他」と回答した方にお聞きします。現在のお住まいに係る住居費（月額，共益費含む。）は，次のどれにあたりますか。＜○は１つ＞

持家以外に住んでいると回答した人で，現在の住まいに係る住居費については，「４万円～５万円未満」が 15.5%と最も高く，次いで「５万円～６万円未満」が 10.8%，３万円～４万円未満」が 9.6%となっています。

居住形態別でみると，民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）は「４万円～５万円未満」（27.9%），高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅など）は「１２万円以上」（26.2%）が最も高くなっています。



【居住形態別】

単位：%

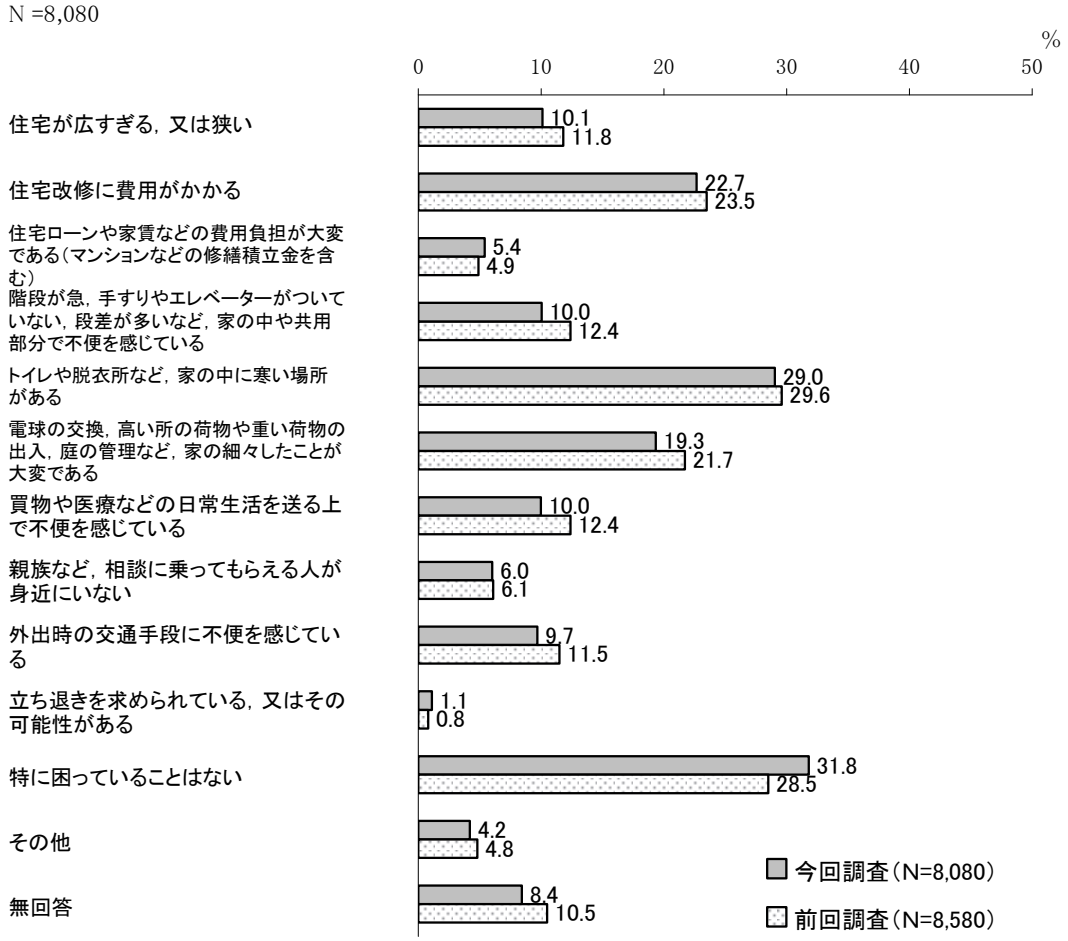
区分	有効回答数（件）	無料	1円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円～10万円未満	10万円～12万円未満	12万円以上	無回答
民間賃貸住宅（一戸建て）	388	1.3	7.2	10.1	15.2	16.5	13.1	10.1	8.2	8.0	3.6	3.4	3.4
民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	621	0.2	0.8	2.4	9.7	27.9	15.5	9.0	7.6	5.0	6.0	2.4	13.7
高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	42	－	－	－	－	2.4	11.9	4.8	0.0	14.3	4.8	26.2	35.7
公営住宅	418	0.7	15.6	15.3	7.4	4.5	6.7	1.9	2.2	2.9	0.7	0.5	41.6
社宅・官舎	31	41.9	6.5	0.0	0.0	6.5	0.0	9.7	6.5	6.5	0.0	3.2	19.4
間借・住み込み	27	25.9	3.7	7.4	14.8	3.7	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	29.6
その他	252	19.0	15.1	6.0	7.1	6.0	4.0	2.0	0.4	1.2	1.2	0.4	37.7

（３）現在の住まいで困っていること

問２Ｑ２．あなたの現在のお住まいについてお困りのことは，次のどれですか。
＜あてはまるものすべてに○＞

現在の住まいで困っていることについては，「特に困っていることはない」が 31.8％と最も高く，次いで「トイレや脱衣所など，家の中に寒い場所がある」が 29.0％，「住宅改修に費用がかかる」が 22.7％となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。



３　リスク評価について

この項における「生活機能評価」,「日常生活評価」,「社会参加評価」の判定方法は，P６の「リスク評価の概要」を参照

（１）生活機能評価

生活機能の低下リスクに関する質問項目に対する回答を点数化し，その得点を集計することにより，①運動器，②閉じこもり予防，③栄養改善，④口腔機能，⑤認知機能障害，⑥うつ予防，⑦転倒の各項目に対するリスク評価を行いました。

①　運動器

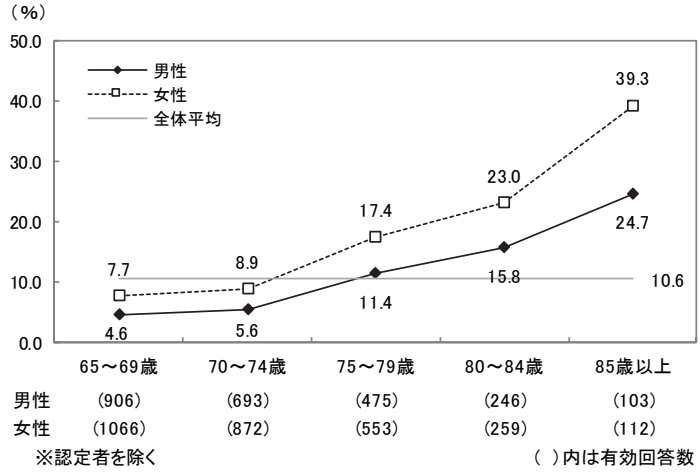
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく運動器の評価結果をみると， 運動器の機能低下のリスクありに該当する方の割合は全体平均で 10.6%となっています。

・性・年齢階層別にみると，全ての年代で女性が男性に比べリスクありに該当する方の割合は高くなっており，また，男性，女性ともに，年齢が上がるとともに割合が高くなり，75 歳以上から全体平均を上回っています。

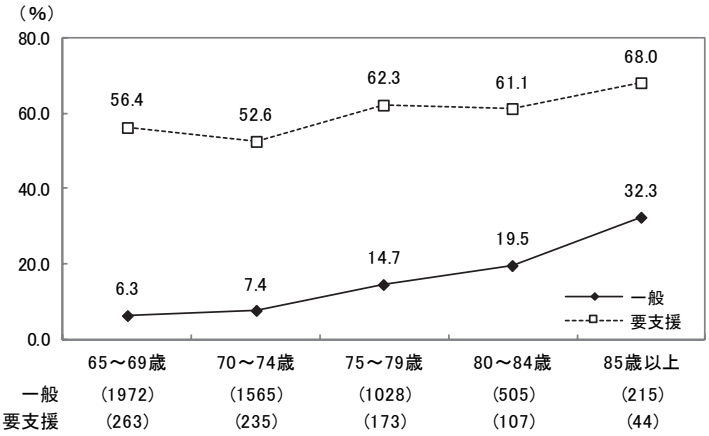
・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者では，75 歳未満ではリスクありに該当する方の割合が 50%台ですが，75 歳以上になると該当する方の割合が 60%台に増加しています。一般高齢者では，年齢階層が上がるとともに高くなっており，特に最も高い「85 歳以上」では，「80～84 歳」に比べ 12.8 ポイントも急激に増加しています。

【性・年齢階層別】



※認定者を除く　　（ ）内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



②　閉じこもり予防

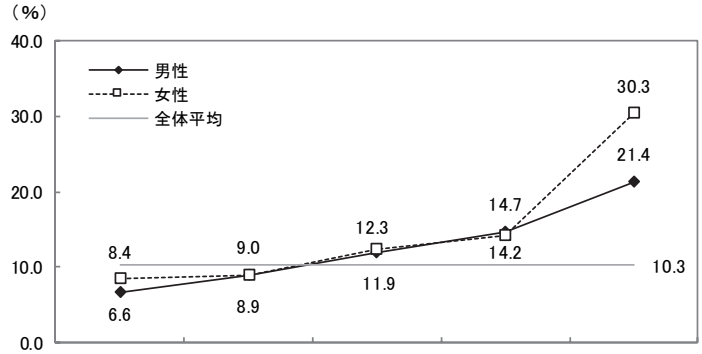
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく閉じこもり予防の評価結果をみると，閉じこもりの機能低下のリスクありに該当する方の割合は全体平均で 10.3%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性，女性とも年齢階層が上がるとともにリスクありに該当する方の割合が高くなり，75 歳以上になると全体平均を上回り，「85 歳以上」で男性では 21.4%，女性では 30.3%と最も高くなっています。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者で 80 歳未満では，リスクありに該当する方の割合が 20%台で推移していますが，80 歳以上になると該当者が 30%台と増加しています。一般高齢者では年齢階層が上がるごとに割合が高くなっており，「85 歳以上」で 26.0%と最も高く，また，「80～84 歳」に比べ 11.5 ポイントも急激に増加しています。

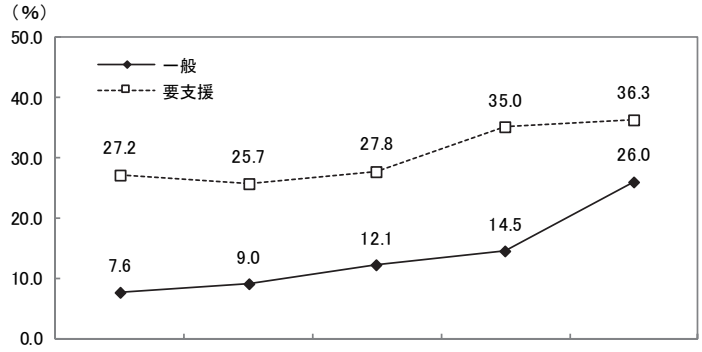
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(918)	(711)	(488)	(257)	(109)
女性	(1092)	(902)	(583)	(274)	(118)

※認定者を除く　　（ ）内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(2011)	(1613)	(1071)	(531)	(227)
要支援	(273)	(249)	(192)	(117)	(48)

③　栄養改善

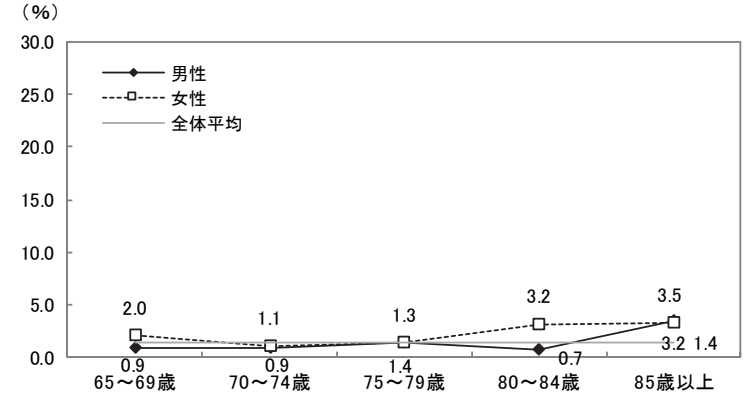
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく栄養改善の評価結果をみると，低栄養リスクありに該当する方の割合は全体平均で 1.4%となっています。

・性・年齢階層別にみると，年齢階層による割合の変化は少なく，他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者の「65～69 歳」で 10.3%と最も高くなっていますが，他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

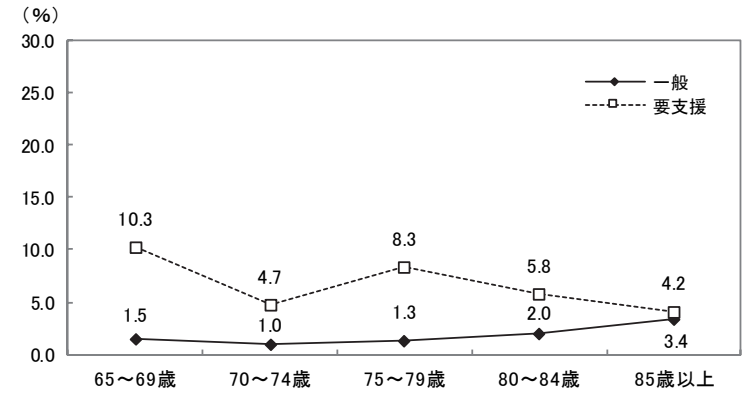
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(852)	(648)	(424)	(219)	(87)
女性	(994)	(832)	(511)	(230)	(87)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1846)	(1480)	(935)	(450)	(174)
要支援	(253)	(222)	(160)	(90)	(34)

④　口腔機能

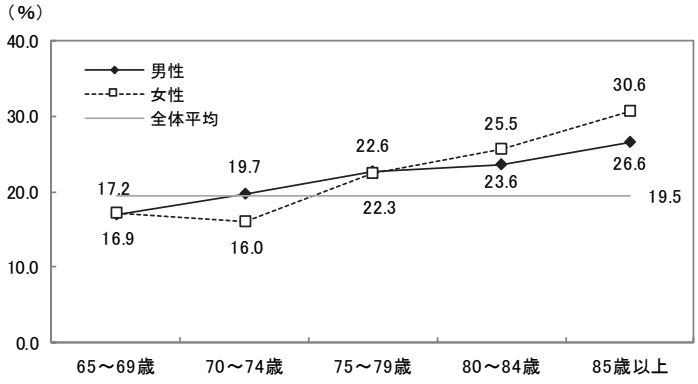
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく口腔機能の評価結果をみると，口腔機能低下のリスクありに該当する方の割合は全体平均で 19.5%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性，女性ともに，概ね年齢階層が上がるとともにリスクありに該当する方の割合が高くなっているものの，大きな差異はみられません。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者では，80 歳未満では，リスクありに該当する方の割合は 30%台で推移しているものの，80 歳以上になると該当者が約 50%と増加しています。一般高齢者では，年齢階層が上がるとともに高くなっています。

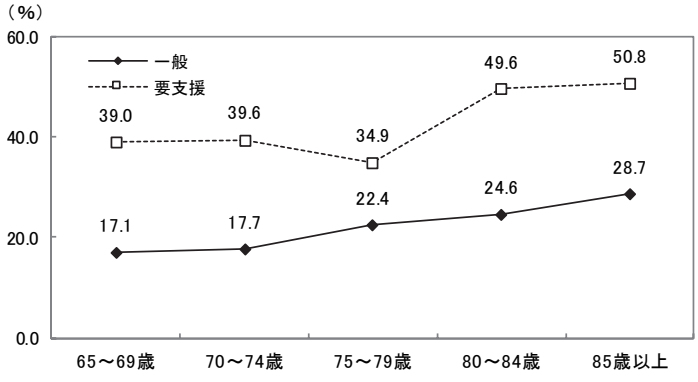
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(912)	(702)	(482)	(251)	(107)
女性	(1082)	(885)	(573)	(268)	(116)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1995)	(1587)	(1055)	(518)	(223)
要支援	(267)	(241)	(183)	(113)	(44)

⑤　認知機能障害

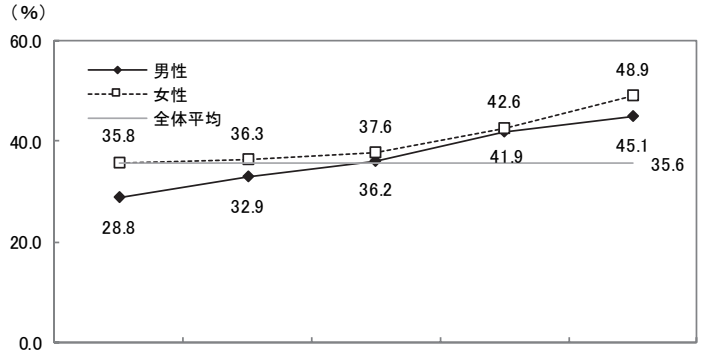
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく認知機能障害の評価結果をみると，認知機能低下のリスクありに該当する方の割合は全体平均で 35.6%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性，女性ともに，年齢階層が上がるとともにリスクありに該当する方の割合が高くなっています。女性では，男性に比べ高くなっており，また全ての年齢階層で全体平均を上回っています。一方，男性では 75 歳以上から全体平均を上回っています。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者では，概ね年齢階層が上がるとともに，リスクありに該当する方の割合が高くなっており，「85 歳以上」では 61.1%と最も高くなっています。一般高齢者でも同様の傾向であり，「85 歳以上」で 47.1%と最も高くなっています。

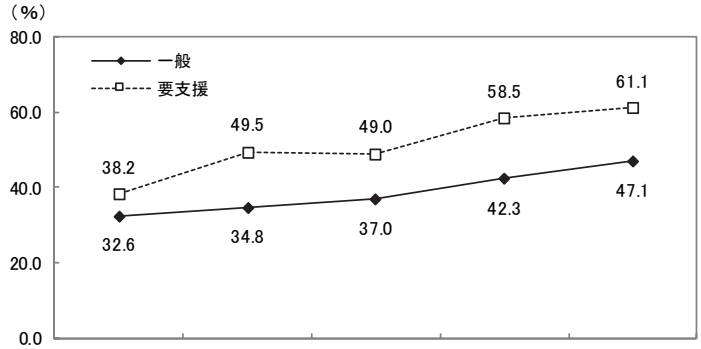
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(912)	(712)	(485)	(251)	(107)
女性	(1086)	(894)	(576)	(269)	(115)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1999)	(1607)	(1061)	(520)	(222)
要支援	(273)	(253)	(179)	(117)	(47)

⑥　うつ予防

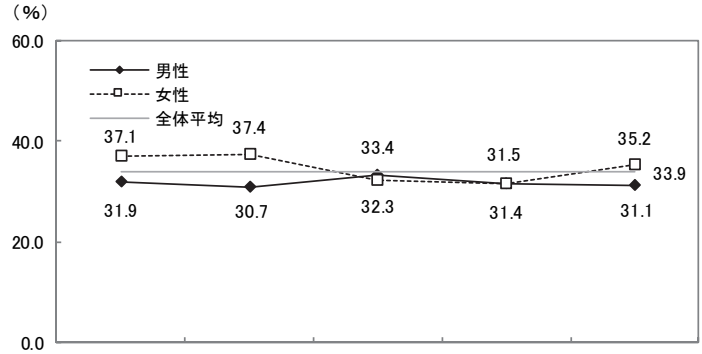
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づくうつ予防の評価結果をみると，リスクありに該当する方の割合は全体平均で 33.9%となっています。

・性・年齢階層別にみると，リスクありに該当する方の割合は，男性，女性ともに 3 割台となっており，男女間では，女性が男性に比べ高くなっています。また，年齢階層による割合の変化は少なく，他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者では，概ね年齢階層が上がるとともに減少しており，「85 歳以上」では 50.8%と最も低くなっています。一般高齢者では，全ての年齢階層において 30%台前半で推移しています。また，年齢階層による割合の変化は少なく，他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

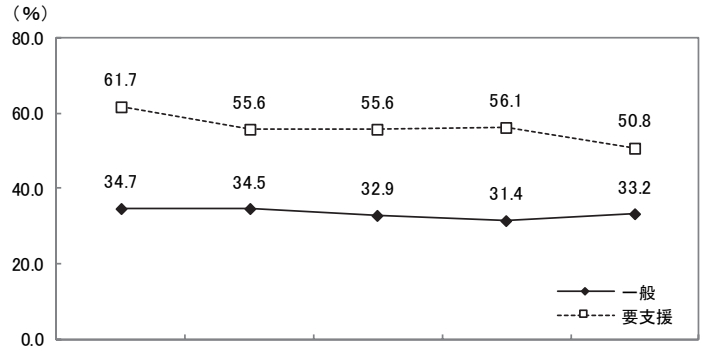
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(886)	(684)	(465)	(241)	(103)
女性	(1070)	(872)	(564)	(260)	(113)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1956)	(1556)	(1028)	(502)	(216)
要支援	(263)	(252)	(175)	(109)	(44)

⑦　転倒

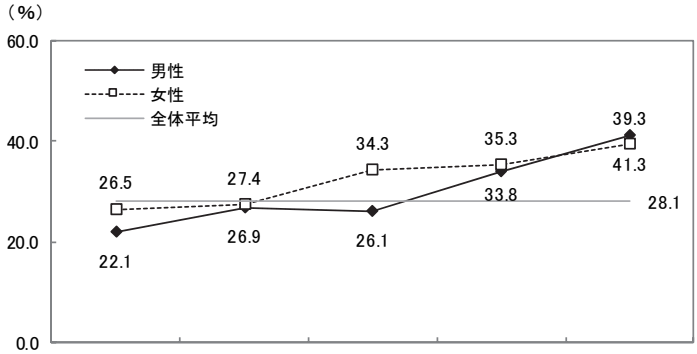
【リスク該当状況】

・基本チェックリストに基づく転倒の評価結果をみると，転倒のリスクありに該当する方の割合は，全体平均で 28.1%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性，女性ともに，年齢階層が上がるとともにリスクありに該当する方の割合が高くなっており，男女間では，概ね女性が男性に比べ転倒のリスクありに該当する方の割合が高くなっているものの，大きな差異は見られません。また，女性では，「75～79 歳」から平均より割合が高くなっている一方，男性では，「80～84 歳」から全体平均より高くなっています。

・要介護度・年齢階層別にみると，要支援者では，年齢階層による割合の変化は少なく，他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないものの，「80～84 歳」で転倒のリスクありに該当する方の割合が 59.0%と最も高く，いずれの年齢階層別でも 50%台で推移しています。一般高齢者では，年齢階層が上がるとともに高くなっており，「85 歳以上」では 40.2%と最も高くなっています。

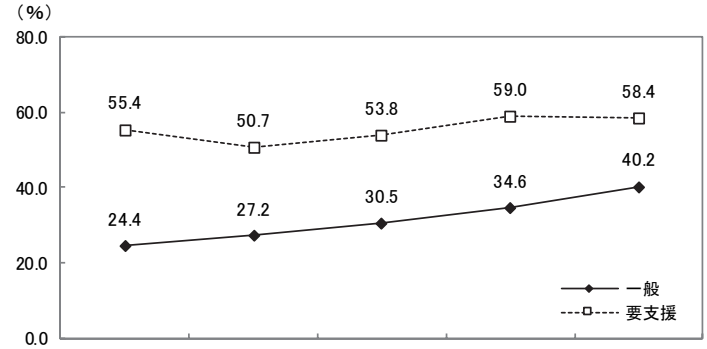
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(918)	(714)	(487)	(256)	(109)
女性	(1090)	(899)	(582)	(273)	(118)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(2009)	(1613)	(1069)	(529)	(227)
要支援	(275)	(250)	(188)	(117)	(48)

（２）日常生活評価

①　手段的自立度（ＩＡＤＬ）

【該当状況】

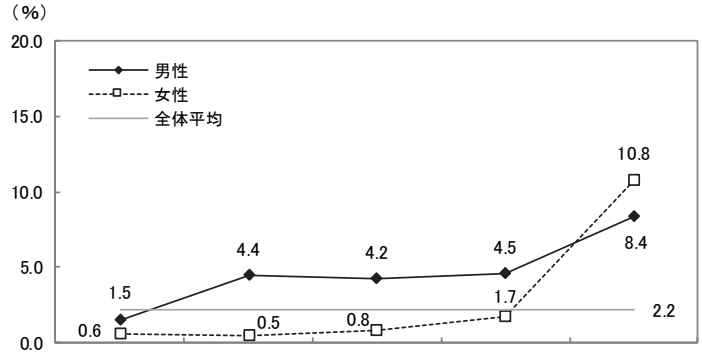
・調査項目には，高齢者の比較的高いレベルでの生活機能を評価することが可能な「老研式活動能力指標」に準じた項目を設けています。この指標のひとつである「手段的自立度（ＩＡＤＬ）」は，買い物や洗濯，掃除等の家事全般や，金銭管理や服薬管理，外出して乗り物に乗ること，趣味のための活動などの自立度のことであり，食事を摂ることや排せつ，入浴などの日常生活動作（ＡＤＬ）より複雑で高次な動作を行える自立度の程度を示しています。

・手段的自立度（ＩＡＤＬ）について，各設問で「できるし，している」または「できるけどしていない」と回答した場合を 1 点として，5 点満点で評価し，5 点を「高い」，4 点を「やや低い」，3 点以下を「低い」として評価しています。4 点以下を低下のリスクありとした場合，該当する方の割合は全体平均で 2.2％となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性では概ね年齢階層が上がるとともにリスクありに該当する方の割合が高くなっており，85 歳未満では女性より高くなっています。一方，女性では 85 歳未満では全体平均を下回っていますが，「85 歳以上」で急激に増加しています。

・要介護度別にみると，要支援者では各年齢階層で，２割近くとなっています。一般高齢者では，「85 歳以上」で 9.6％となっていますが，その他の年齢階層では 1～3％台で推移しています。

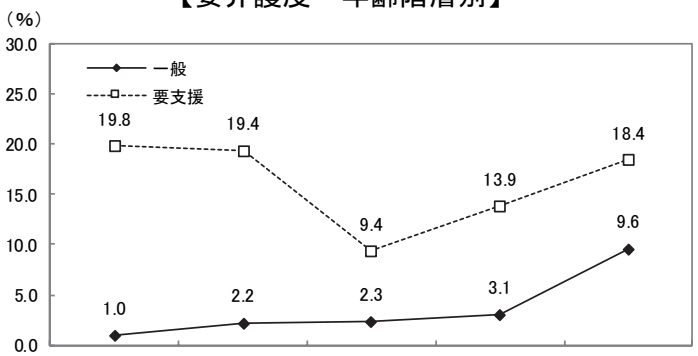
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(908)	(706)	(479)	(252)	(107)
女性	(1088)	(899)	(579)	(272)	(116)

※認定者を除く　　（ ）内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1997)	(1605)	(1058)	(524)	(223)
要支援	(273)	(246)	(183)	(116)	(46)

②　知的能動性

【該当状況】

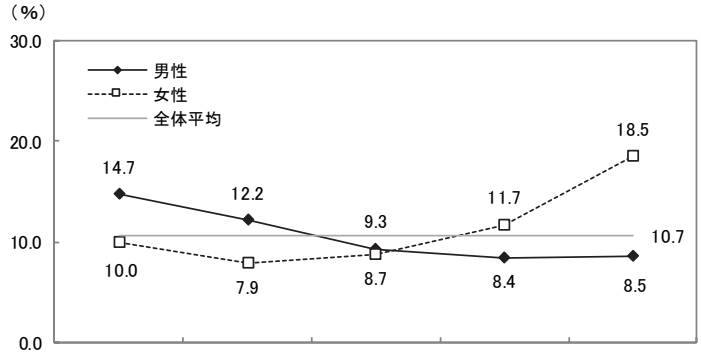
・「老研式活動能力指標」のひとつである「知的能動性」は，書類などを書くことや，本や新聞を読むこと，物事に対する関心など，高齢者の知的活動の自立度の程度を示しており，高齢者の知的活動に関する設問が4問あり，「知的能動性」として尺度化されています。

・評価は，各設問に「はい」と回答した場合を 1 点として，4 点満点の 4 点を「高い」，3 点を「やや低い」，2 点以下を「低い」と評価します。3 点以下を低下のリスクありとした場合，該当する方の割合は全体平均で 10.7%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性では年齢階層が上がるとともに低くなっており，75 歳以上で全体平均を下回っています。一方，女性では概ね年齢階層が上がるとともに高くなっており，「80～84 歳」で全体平均を上回っています。

・要介護度別にみると，要支援者では「65～69 歳」が 37.4%と最も高くなっていますが，各年齢階層でばらつきがあります。一般高齢者では各年齢階層で，10%前後で推移しています。

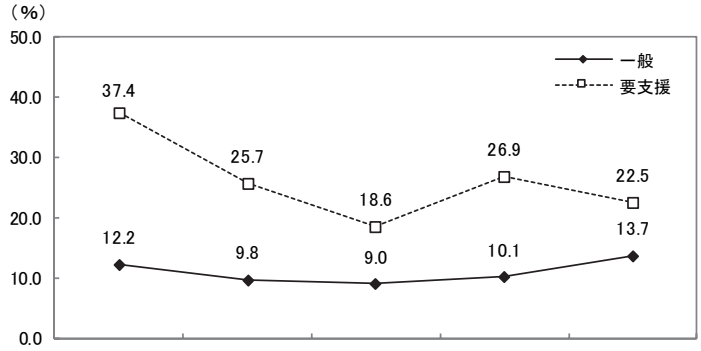
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(912)	(708)	(480)	(252)	(105)
女性	(1078)	(891)	(568)	(265)	(113)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1991)	(1599)	(1048)	(517)	(218)
要支援	(273)	(244)	(180)	(112)	(45)

③　社会的役割

【該当状況】

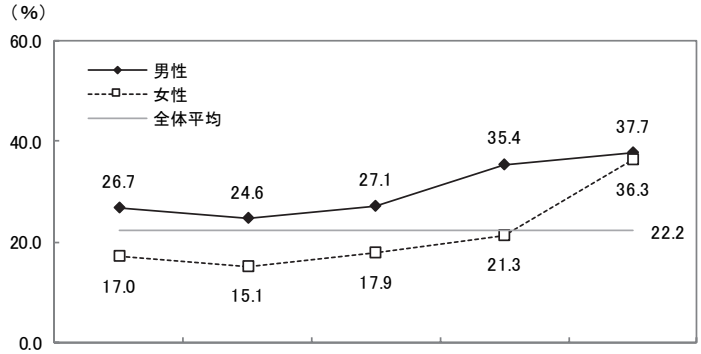
・「老研式活動能力指標」のひとつである「社会的役割」は，友人宅を訪問することや家族や友人からの相談に応じることなど，高齢者の他者との関わりの程度や社会活動の自立度の程度を示しており，高齢者の社会活動に関する設問が4問あり，「社会的役割」として尺度化されています。

・評価は，知的能動性と同様に 4 点満点で評価し，4 点を「高い」，3 点を「やや低い」，2 点以下を「低い」と評価しています。3 点以下を低下のリスクありとした場合，該当する方の割合は全体平均で 22.2%となっています。

・性・年齢階層別にみると，男性，女性ともに，概ね年齢階層が上がるとともに高くなっています。男性では，全ての年齢階層で全体平均を上回っており，女性に比べてリスクが高いことがうかがえます。一方，女性では，85 歳未満では全体平均を下回っているものの，「85 歳以上」で急激に増加しています。

・要介護度別でみると，要支援者では，全ての年齢階層において概ね 50%前後で推移しています。一般高齢者では，概ね年齢階層が上がるとともに割合が高くなっており，「85 歳以上」で 37.0%と最も高くなっています。

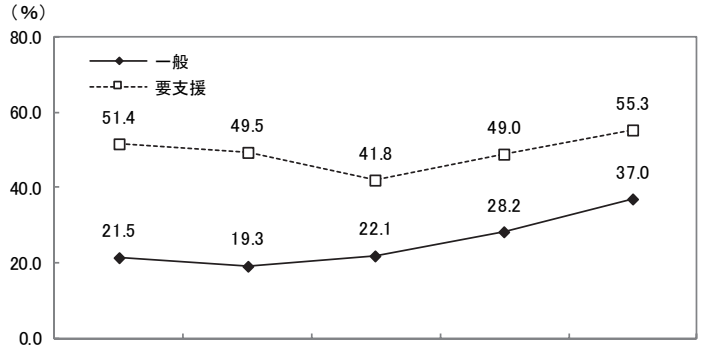
【性・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(908)	(690)	(472)	(246)	(103)
女性	(1072)	(876)	(561)	(258)	(111)

※認定者を除く　　( )内は有効回答数

【要介護度・年齢階層別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般	(1980)	(1566)	(1033)	(504)	(214)
要支援	(265)	(238)	(178)	(107)	(43)

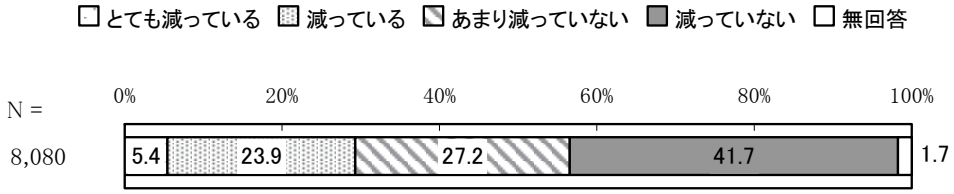
４　外出等について（問３）

（１）外出回数

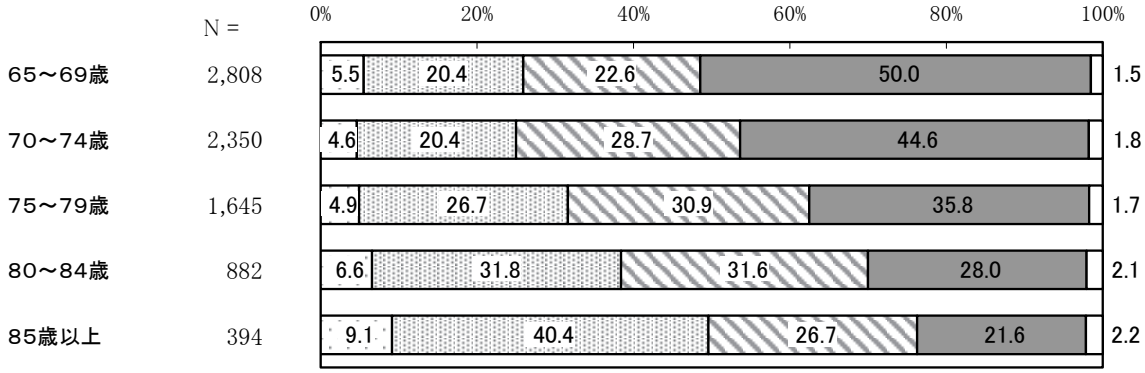
問３Ｑ５．あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。＜○は１つ＞

「昨年と比べて外出の回数が減っているか」については，「減っていない」が 41.7％と最も高く，次いで「あまり減っていない」が 27.2％，「減っている」が 23.9％となっています。

年齢別でみると，「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合は概ね年齢が上がるにつれて高くなっており，85 歳以上で半数近くまで増加しています。



【年齢別】

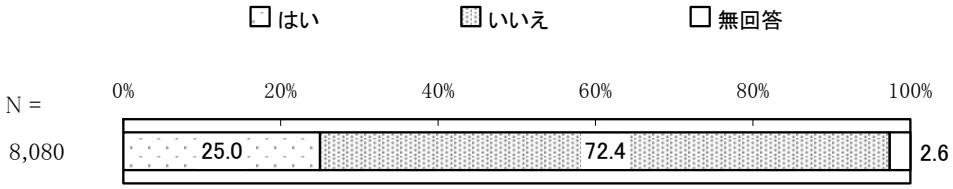


（２）外出を控えているか

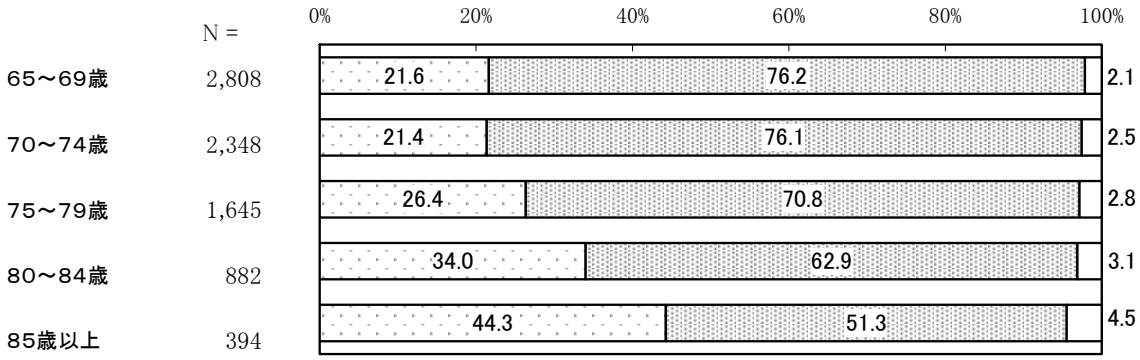
問３Ｑ６．あなたは外出を控えていますか。＜○は１つ＞

「外出を控えているか」については，「はい（控えている）」が 25.0%，「いいえ（控えていない）」が 72.4%となっています。

年齢別でみると，「はい（控えている）」は概ね年齢が上がるとともに高くなっており，「85 歳以上」で 44.3%と最も高くなっています。



【年齢別】

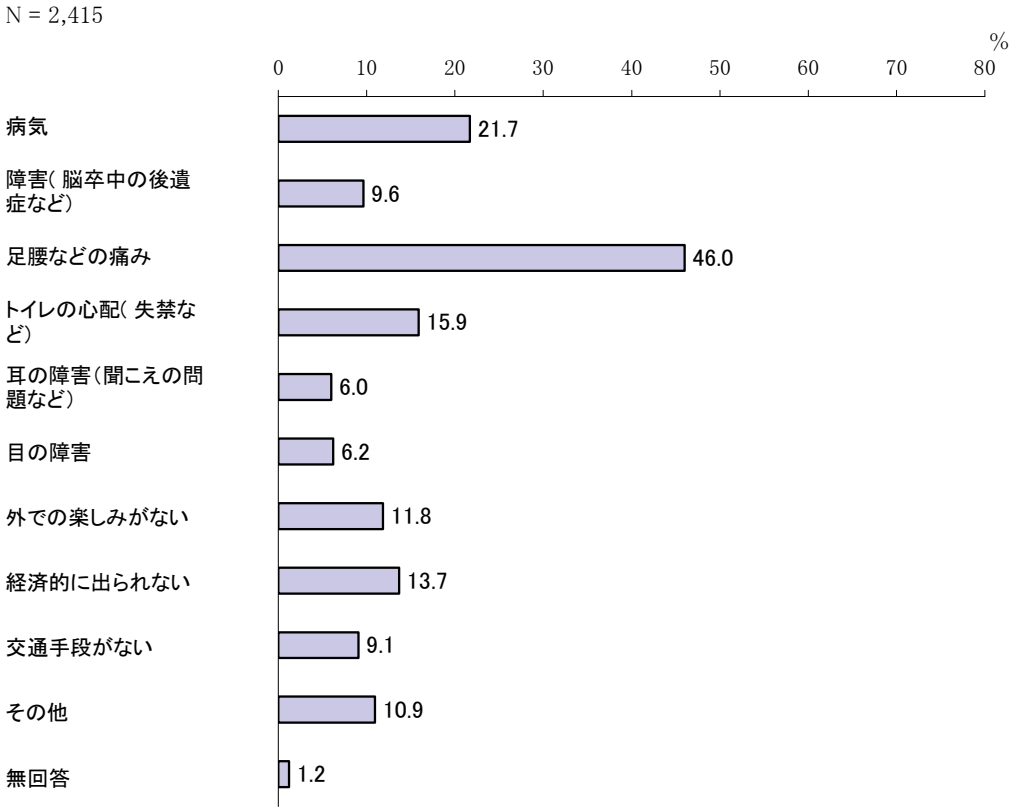


（３）外出を控えている理由

問３Ｑ６－１．Ｑ６で「１．はい」と回答した方にお聞きします。外出を控えている理由は，次のどれですか。＜あてはまるものすべてに○＞

外出を控えていると回答した方にその理由をたずねたところ，「足腰などの痛み」が 46.0%と最も高く，次いで「病気」が 21.7%，「トイレの心配（失禁など)」が 15.9%となっています。

年齢別でみると，「足腰などの痛み」，「耳の障害」は概ね年齢が上がるとともに高くなっています。一方で，「病気」や「障害(脳卒中の後遺症など)」，「経済的に出られない」，「交通手段がない」は年齢が上がるとともに低くなっています。



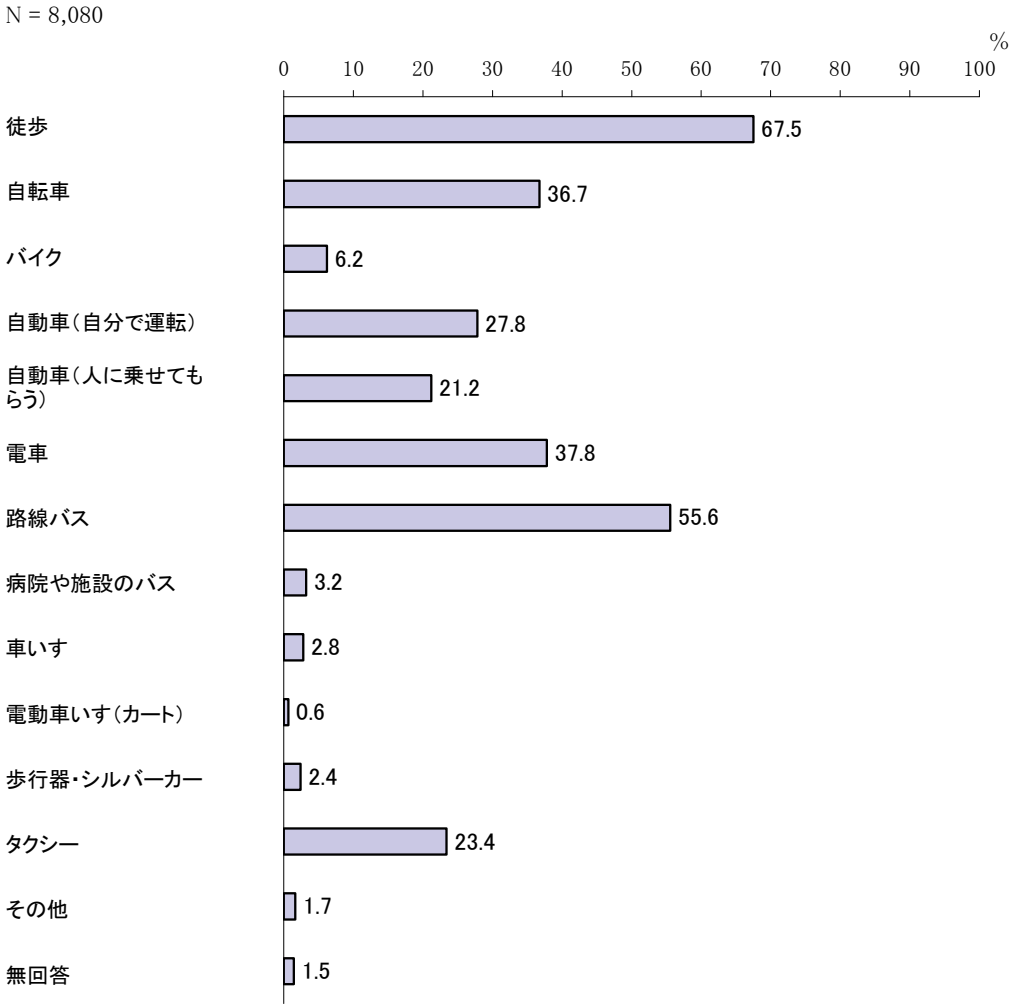
【年齢別】

区分	有効回答数（件）	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
65～69 歳	607	33.3	17.8	45.2	19.5	3.0	6.3	16.5	23.4	12.9	12.5	0.3
70～74 歳	502	30.0	13.1	52.8	22.0	4.7	7.1	13.9	15.7	11.3	14.8	0.6
75～79 歳	434	20.4	9.2	62.2	16.9	10.3	8.1	11.9	15.8	9.9	11.2	2.6
80～84 歳	300	20.0	4.1	61.3	17.1	9.8	7.6	14.3	9.2	9.7	14.9	2.6
85 歳以上	174	12.7	3.6	67.3	17.7	16.5	10.4	12.3	7.0	6.9	11.6	2.8

（４）外出の際の移動手段

問３Ｑ７．あなたが外出する際の移動手段は何ですか。＜あてはまるものすべてに○＞

外出の際の移動手段については，「徒歩」が 67.5％と最も高く，次いで「路線バス」が 55.6％，「電車」が 37.8％となっています。



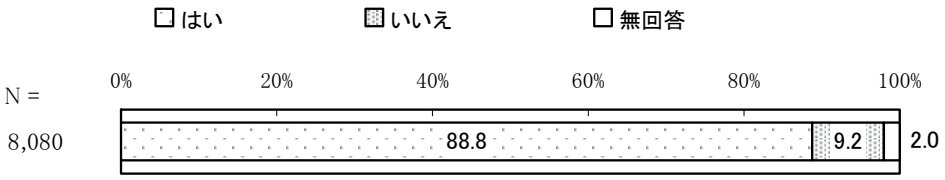
５　口腔・栄養について（問５）

（１）歯磨きの状況

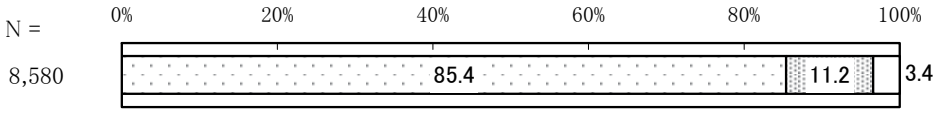
問５Ｑ６．あなたは歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。＜○は１つ＞

「歯磨きを毎日しているか」については，「はい（している）」が 88.8%，「いいえ（していない）」が 9.2%となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。



【前回調査（平成 25 年）】

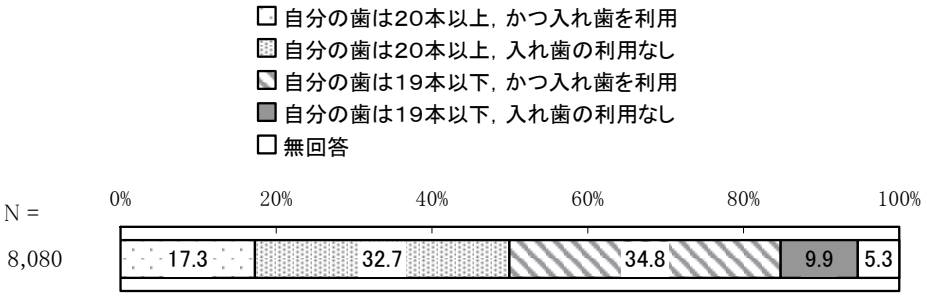


（２）歯の本数

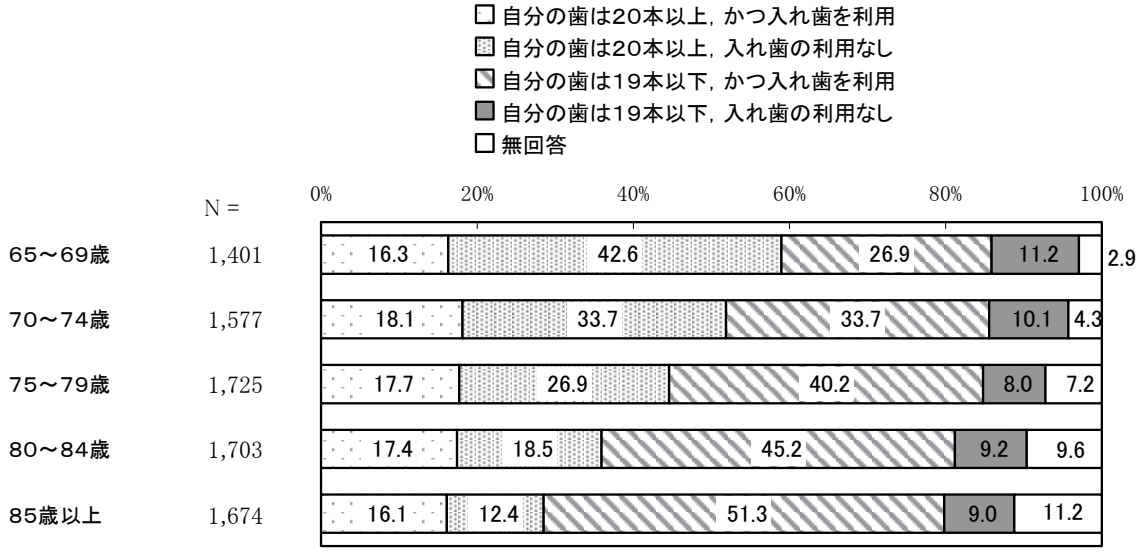
問５Ｑ７．あなたの歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（成人の歯の総本数は，親知らずを含めて３２本です。）。＜○は１つ＞

歯の本数については，「自分の歯は１９本以下，かつ入れ歯を利用」が 34.8%と最も高く，次いで「自分の歯は２０本以上，入れ歯の利用なし」が 32.7%，「自分の歯は２０本以上，かつ入れ歯を利用」が 17.3%となっています。

年齢別でみると，自分の歯が２０本以上ある方の割合は年齢が上がるとともに低くなっており，「80～84 歳」で 35.9%，「85 歳以上」で 28.5%となっています。



【年齢別】

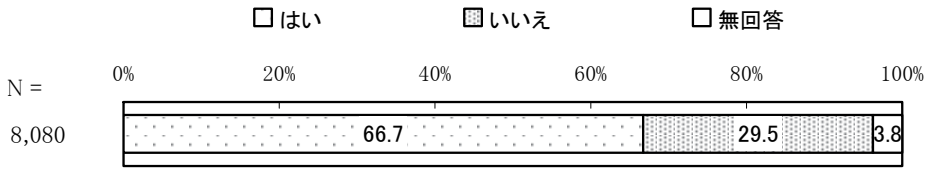


（３）歯の噛み合わせの状況

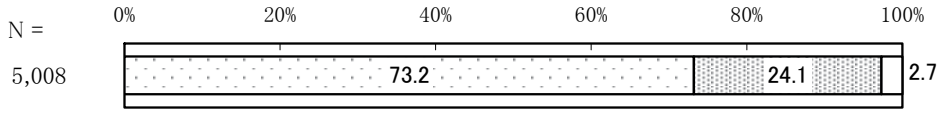
問５Ｑ７－１．あなたの歯の噛み合わせは良いですか。＜○は１つ＞

「歯の噛み合わせが良いか」についてたずねたところ，「はい（良い）」が 66.7%，「いいえ（良くない）」が 29.5%となっています。

前回調査と比較すると，「はい」が 6.5 ポイント減少しています。



【前回調査（平成 25 年）】

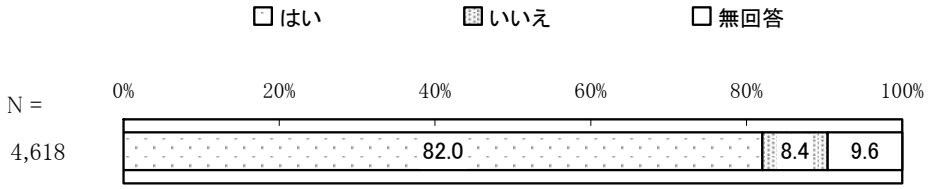


（４）入れ歯の手入れの状況

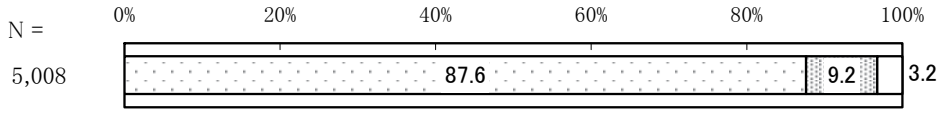
問５Ｑ７－２．Ｑ７で「１．自分の歯は２０本以上，かつ入れ歯を利用」，又は「自分の歯は１９本以下，かつ入れ歯を利用」と回答した方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。＜○は１つ＞

入れ歯を使用していると回答した人に，「毎日入れ歯の手入れをしているか」についてたずねたところ，「はい（している）」が 82.0%，「いいえ（していない）」が 8.4%となっています。

前回調査と比較すると，「はい」が 5.6 ポイント減少しています。



【前回調査（平成 25 年）】

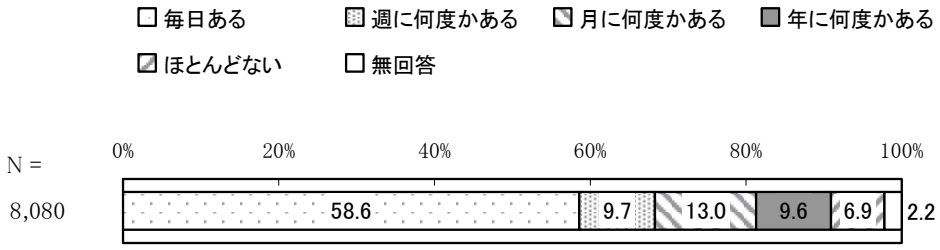


（５）共食の機会の頻度

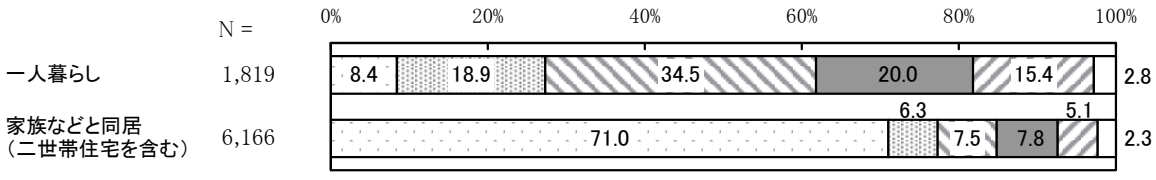
問５Ｑ８．あなたはどなたかと食事をともにする機会はありますか。＜○は１つ＞

「どなたかと食事をともにする機会はあるか」については，「毎日ある」が 58.6%と最も高く，次いで「月に何度かある」が 13.0%，「週に何度かある」が 9.7%となっています。

家族構成別でみると，「一人暮らし」では，「家族などと同居」と比べて，「毎日ある」は約１割と低く，「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた割合は約３割と高くなっています。



【家族構成別】

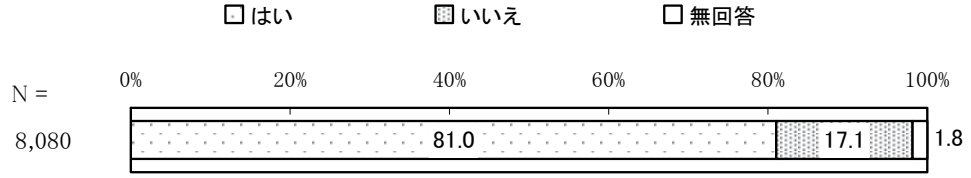


６　物忘れについて（問６）

（１）電話番号を調べてからの電話の有無

問６Ｑ２．あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。
＜○は１つ＞

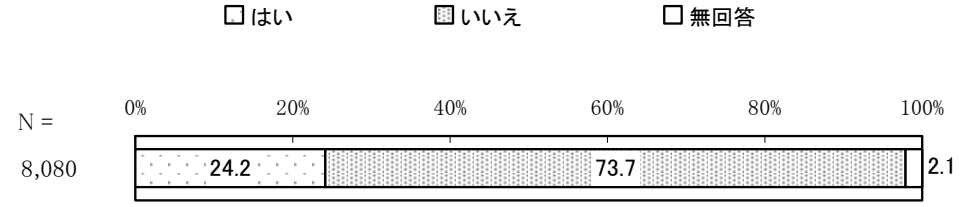
「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか」については，「はい」が 81.0%，「いいえ」が 17.1%となっています。



（２）月日の認知の有無

問６Ｑ３．あなたは今日が何月何日かわからない時がありますか。＜○は１つ＞

「今日が何月何日かわからない時があるか」については，「はい」が 24.2%，「いいえ」が 73.7%となっています。



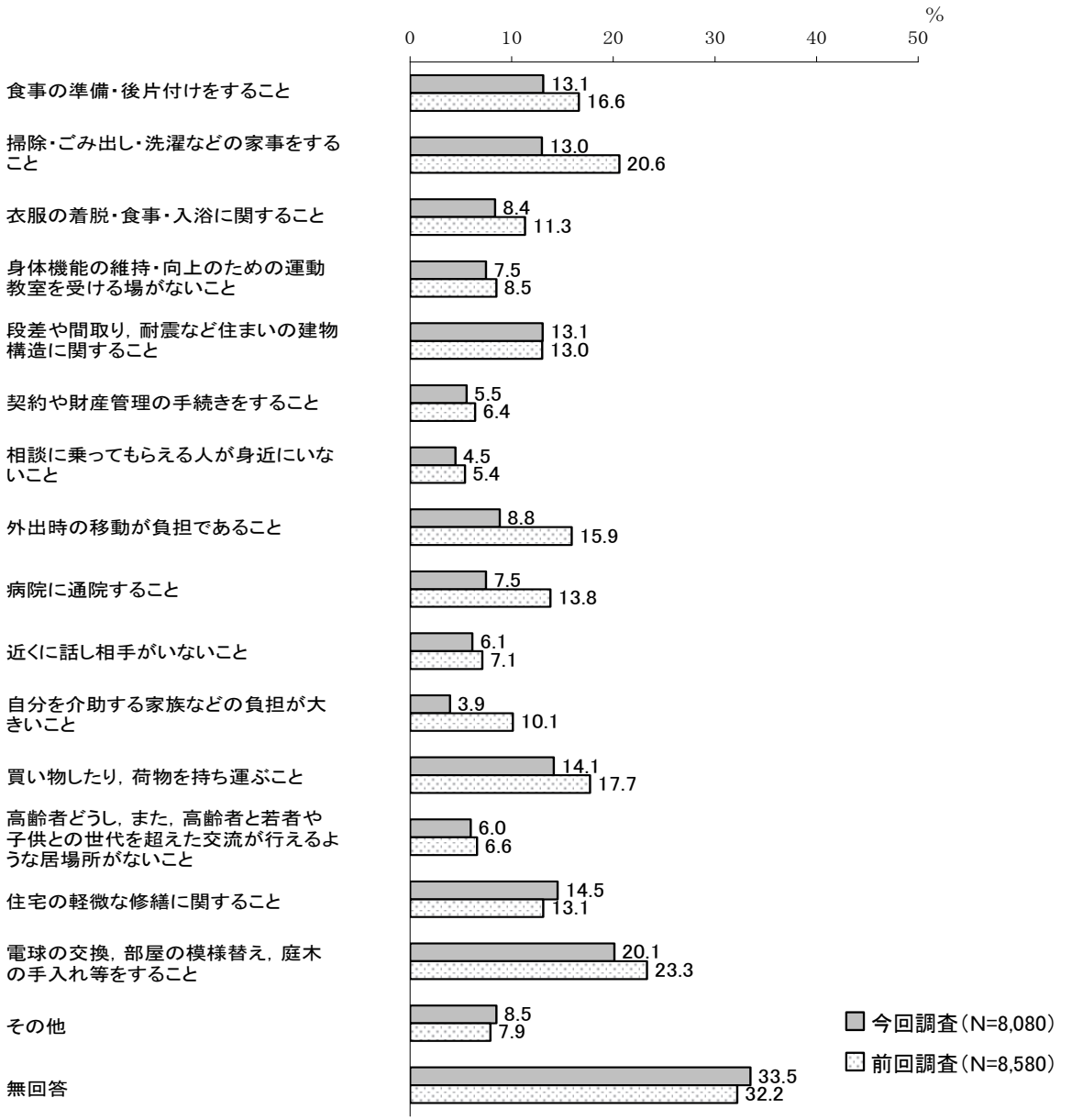
7　日常生活について（問７）

（１）日常生活の中で不自由と感じていること

問７Ｑ６．現在，あなたが日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。
＜○は５つまで。うち最もそう感じるものに◎＞

日常生活の中で不自由と感じていることについては，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること」が 20.1%と最も高く，次いで「住宅の軽微な修繕に関すること」が 14.5%，「買い物したり，荷物を持ち運ぶこと」が 14.1%となっています。

前回調査と比較すると，傾向はほぼ同じですが，「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること」，「外出時の移動が負担であること」，「病院に通院すること」，「自分を介助する家族などの負担が大きいこと」が 6 ポイント以上減少しています。



年齢別でみると，「病院に通院すること」，「買い物したり，荷物を持ち運ぶこと」，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること」は年齢が上がるとともに高くなっています。

家族構成別でみると，「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること」，「近くに話し相手がいないこと」，「買い物したり，荷物を持ち運ぶこと」，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること」は，「一人暮らし」で「家族などと同居」より 5 ポイント以上高くなっています。

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	食事の準備・後片付けをすること	掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	衣服の着脱・食事・入浴に関すること	身体機能の維持・向上のための運動教室を受けるける場がないこと	段差や間取り，耐震など住まいの建物構造に関すること	契約や財産管理の手続きをすること	相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと	外出時の移動が負担であること	病院に通院すること	近くに話し相手がいないこと	自分を介助する家族などの負担が大きいこと	買い物したり，荷物を持ち運ぶこと	高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと	住宅の軽微な修繕に関すること	電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること	その他	無回答
65～69 歳	2,808	12.7	13.1	8.8	7.8	12.9	4.6	4.7	8.0	5.9	6.1	3.6	11.8	4.9	14.1	16.4	9.1	35.5
70～74 歳	2,350	12.2	11.4	8.0	7.4	13.1	4.5	4.4	7.9	6.9	5.5	4.0	12.1	6.3	14.2	17.7	8.8	34.7
75～79 歳	1,645	12.5	11.7	7.1	7.8	13.3	6.8	4.3	8.6	8.6	6.6	3.7	16.3	6.8	15.1	23.7	8.9	32.3
80～84 歳	883	16.0	16.2	8.8	6.8	13.6	7.9	4.4	11.1	9.9	6.1	4.2	19.3	6.5	15.6	27.7	6.3	29.0
85 歳以上	394	17.4	19.6	11.9	6.0	11.1	8.0	3.8	16.0	10.9	8.6	6.0	22.6	7.0	14.5	28.7	5.7	26.5

【家族構成別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	食事の準備・後片付けをすること	掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	衣服の着脱・食事・入浴に関すること	身体機能の維持・向上のための運動教室を受けるける場がないこと	段差や間取り，耐震など住まいの建物構造に関すること	契約や財産管理の手続きをすること	相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと	外出時の移動が負担であること	病院に通院すること	近くに話し相手がいないこと	自分を介助する家族などの負担が大きいこと	買い物したり，荷物を持ち運ぶこと	高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと	住宅の軽微な修繕に関すること	電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること	その他	無回答
一人暮らし	1,819	15.7	16.8	9.7	6.8	11.0	5.2	9.2	9.3	8.2	11.0	1.6	18.0	7.4	17.5	32.3	5.6	26.0
家族などと同居	6,261	12.2	11.7	7.9	7.5	13.6	5.6	3.0	8.5	7.1	4.6	4.5	12.7	5.5	13.4	16.2	9.2	35.1

８　社会参加について（問８）

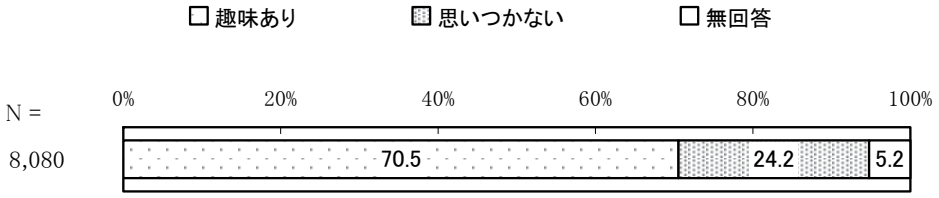
（１）趣味の有無

問８Ｑ９．あなたは趣味がありますか。＜○は１つ＞

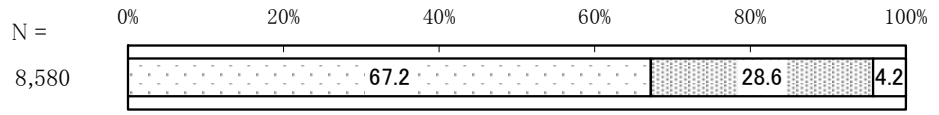
「趣味があるか」については，「趣味あり」が 70.5%，「思いつかない」が 24.2%となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。

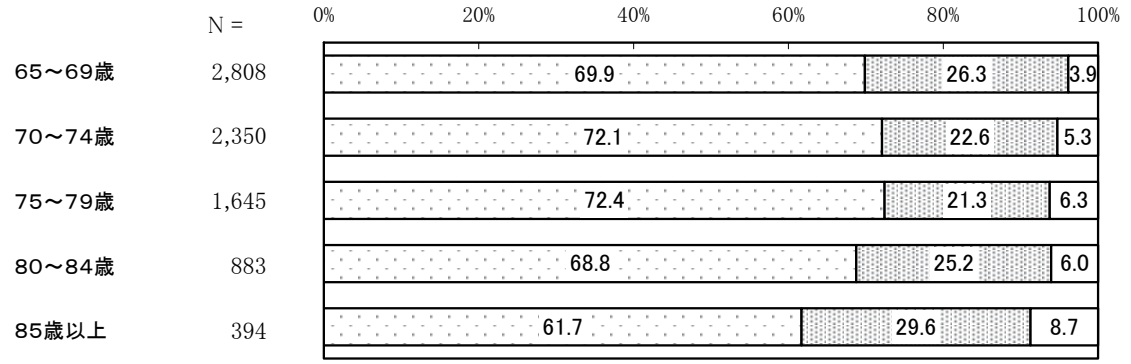
年齢別でみても，大きな差異は見られませんが，「85 歳以上」で「趣味あり」が 61.7%と最も低くなっています。



【前回調査（平成 25 年）】



【年齢別】



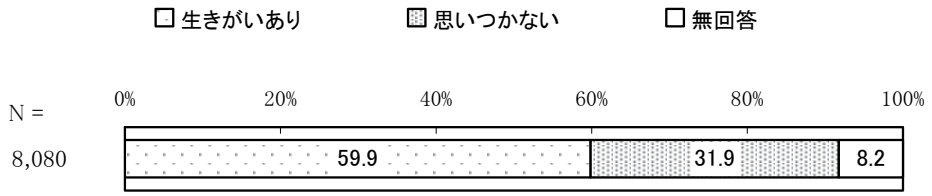
（２）生きがいの有無

問８Q10. あなたは生きがいがありますか。＜○は１つ＞

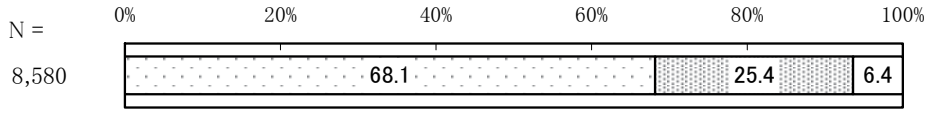
「生きがいがあるか」については，「生きがいあり」が 59.9%，「思いつかない」が 31.9%となっています。

前回調査と比較すると，「生きがいあり」が 8.2 ポイント減少しています。

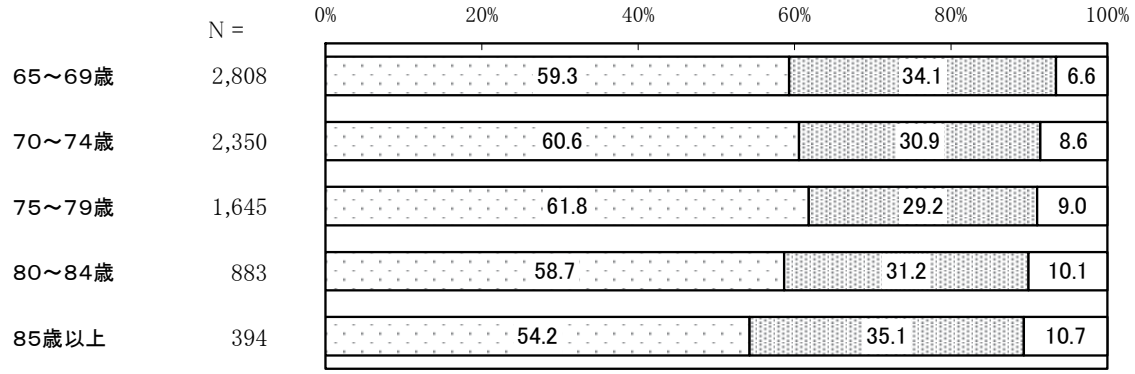
年齢別でみると，大きな差異は見られませんが，「85 歳以上」で「生きがいあり」が 54.2%と最も低くなっています。



【前回調査（平成 25 年）】



【年齢別】



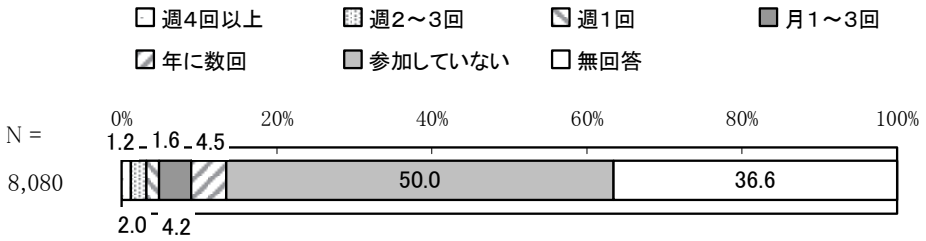
（３）会・グループの参加頻度

問８Q11. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
＜(1)から(7)までそれぞれ○は１つずつ＞

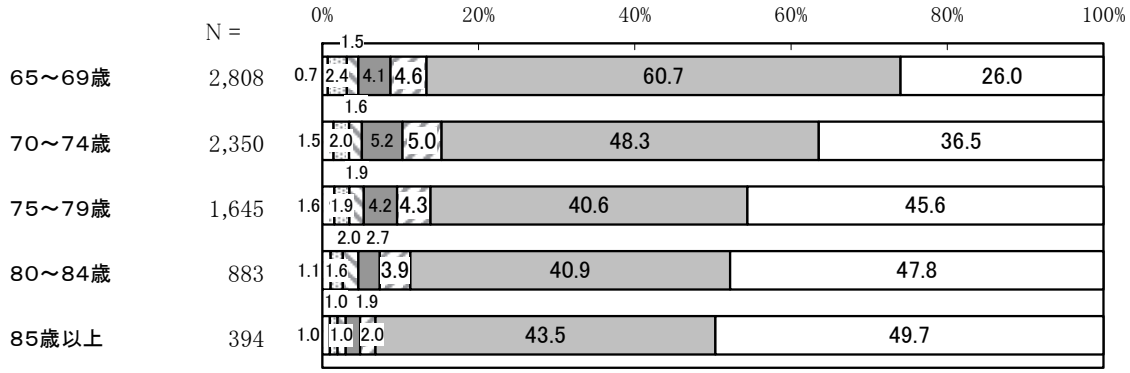
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループの参加頻度については,「参加していない」が 50.0%と最も高く,次いで,「年に数回」が 4.5%となっています。

年齢別でみると,“ボランティアに参加している方”の割合では,「70～74 歳」で 15.3%と最も高く,そこから年齢が上がるとともに低くなっています。



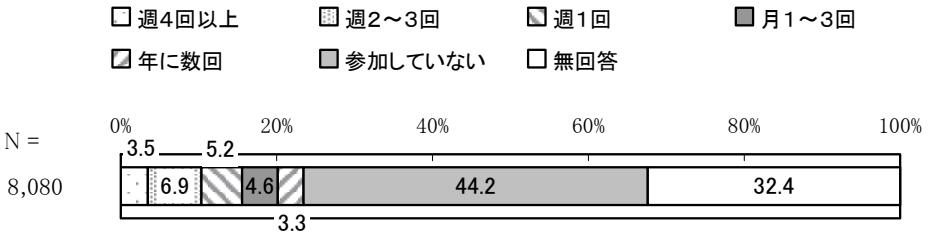
【年齢別】



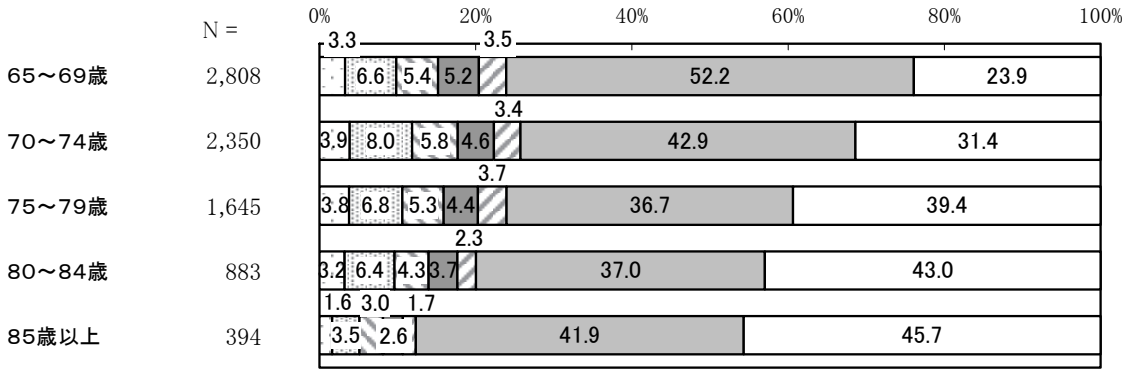
② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度については，「参加していない」が 44.2%と最も高く，次いで，「週 2～3 回」が 6.9%となっています。

年齢別でみると，“スポーツ関係のグループやクラブに参加している方”の割合では，「70～74 歳」では 25.7%と最も高く，そこから年齢が上がるとともに低くなっています。



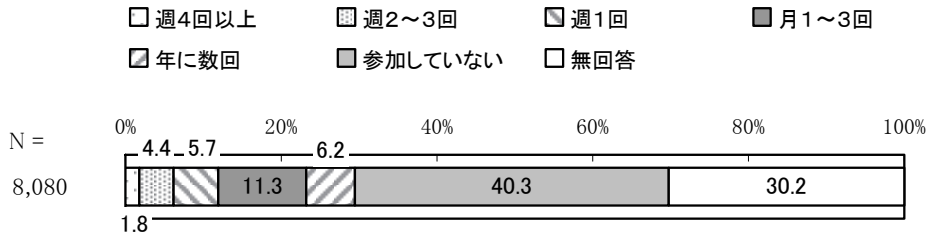
【年齢別】



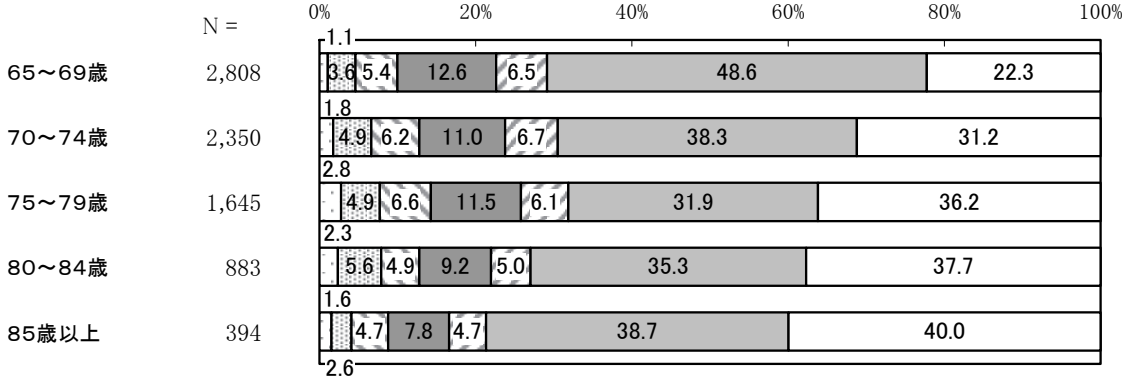
③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループの参加頻度については，「参加していない」が 40.3%と最も高く，次いで，「月 1～3 回」が 11.3%となっています。

年齢別でみると，“趣味関係のグループに参加している方”の割合では，「75～79 歳」で 31.9%と最も高くなっています。



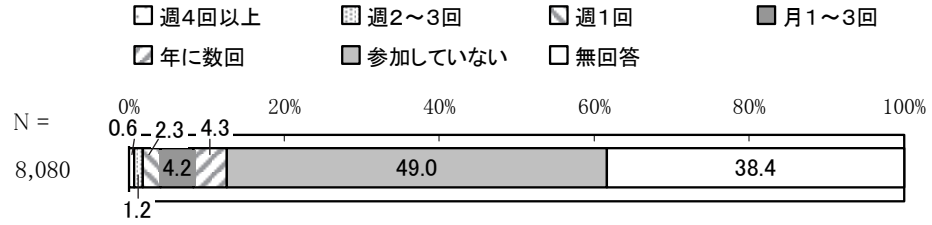
【年齢別】



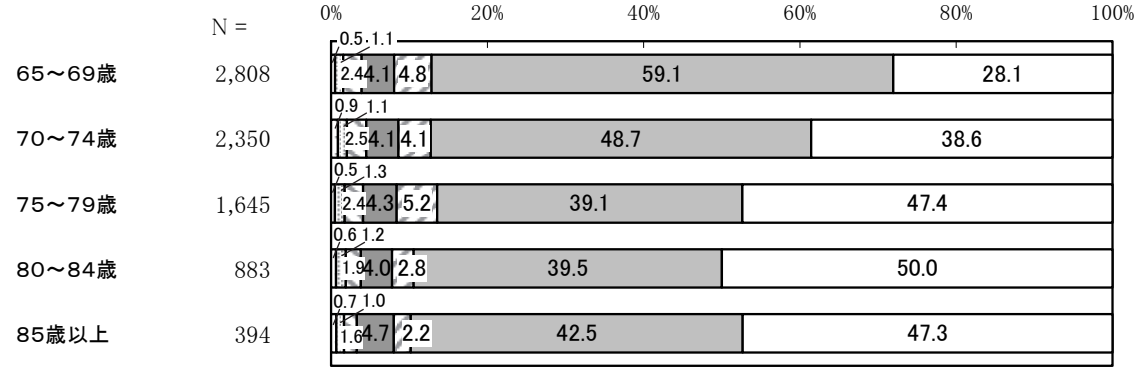
④　学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加頻度については，「参加していない」が 49.0%と最も高く，次いで，「年に数回」が 4.3%となっています。

年齢別でみると，“学習・教養サークルに参加している方”の割合では，「75～79 歳」で 13.7%と最も高くなっています。



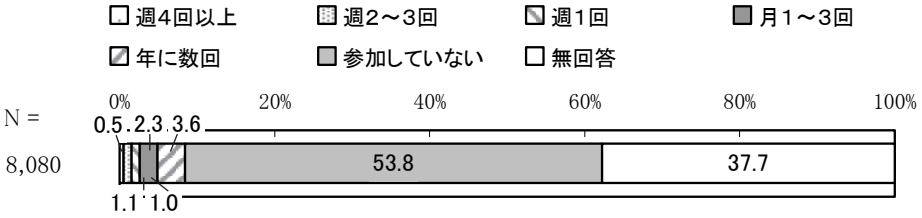
【年齢別】



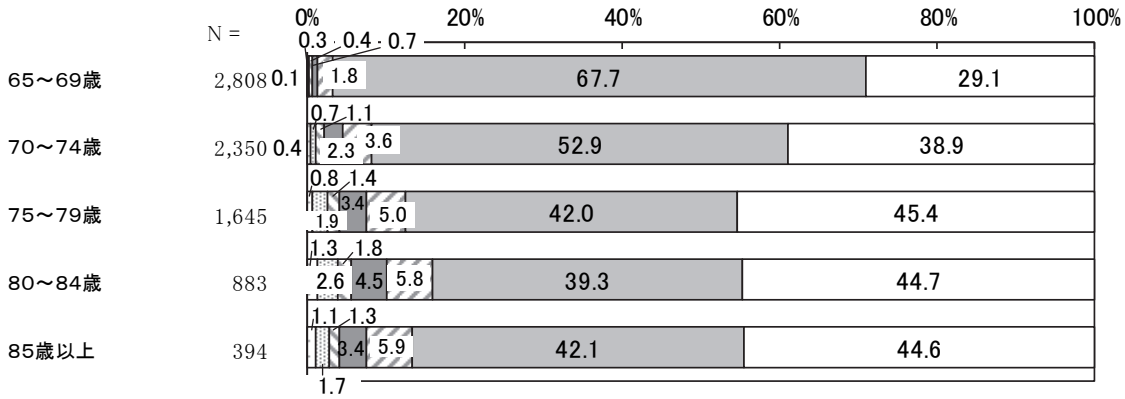
⑤　老人クラブ

老人クラブの参加頻度については，「参加していない」が 53.8%と最も高く，次いで，「年に数回」が 3.6%となっています。

年齢別でみると，“老人クラブに参加する方”の割合では，「80～84 歳」で 16.0%と最も高く，そこから年齢が下がるとともに低くなっています。



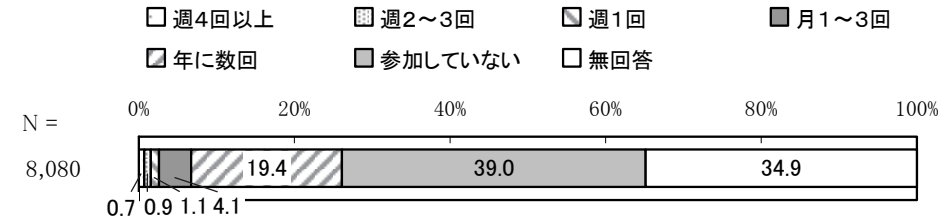
【年齢別】



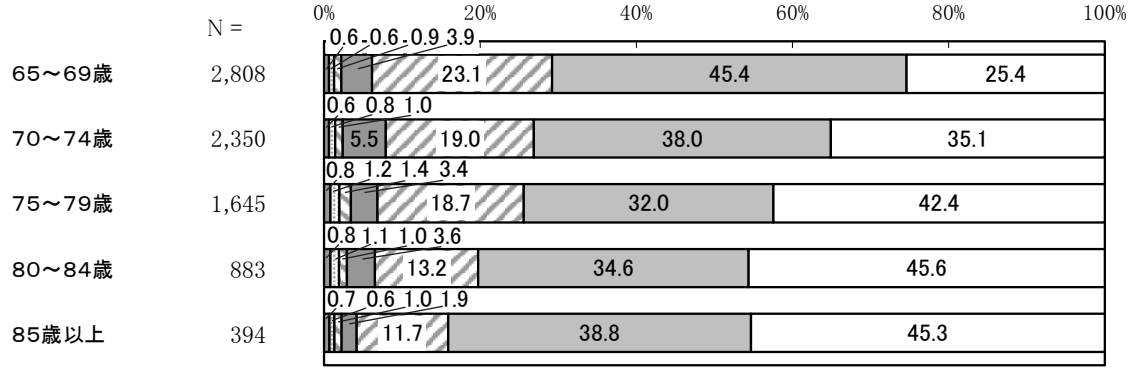
⑥　町内会・自治会

町内会・自治会の参加頻度については，「参加していない」が 39.0％と最も高く，次いで，「年に数回」が 19.4％となっています。

年齢別でみると，“町内会・自治会に参加する方”の割合では，「65～69 歳」が 29.1％と最も高く，年齢が上がるとともに低くなっています。



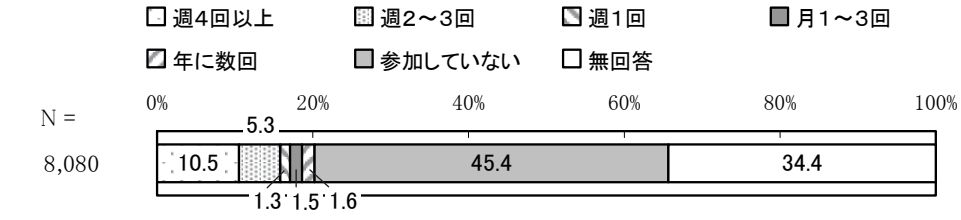
【年齢別】



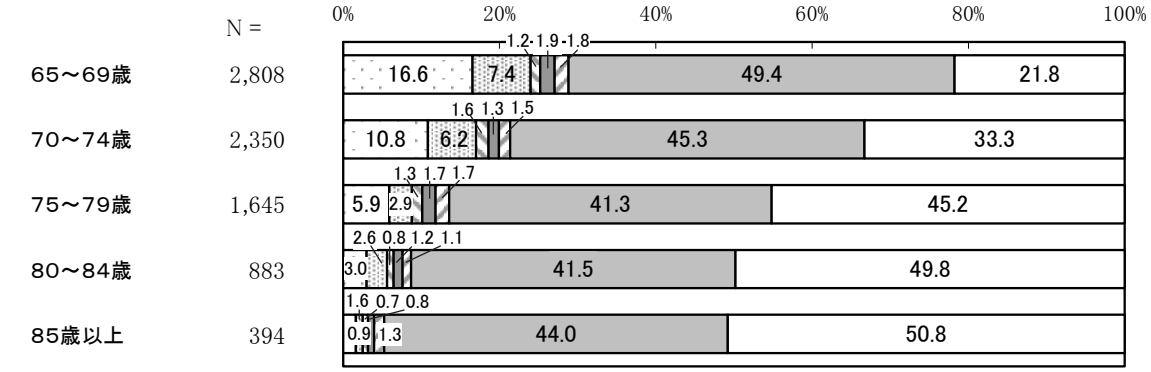
⑦　収入のある仕事

収入のある仕事の参加頻度については，「参加していない」が 45.4％と最も高く，次いで，「週 4 回以上」が 10.5％となっています。

年齢別でみると，“収入のある仕事に参加している方”の割合では，「65～69 歳」が 28.9％と最も高く，年齢が上がるとともに低くなっています。



【年齢別】

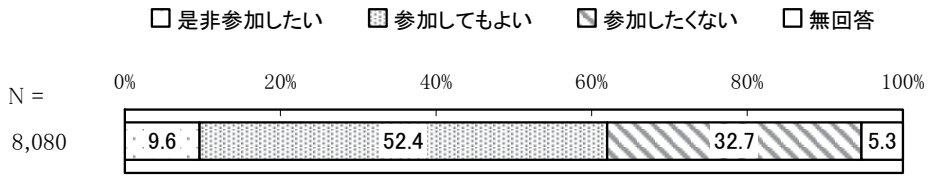


（４）健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向

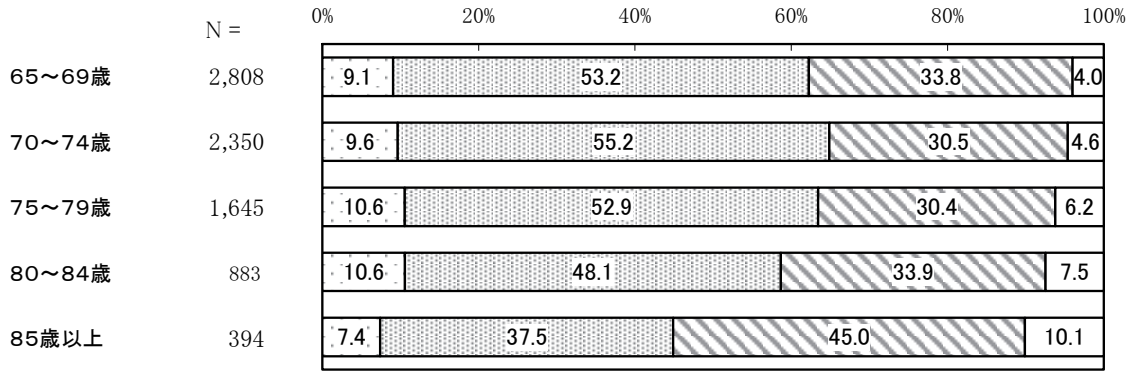
問８Q12. 地域住民の有志によって，健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って，いきいきした地域づくりを進めるとしたら，あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。＜○は１つ＞

「活動に参加者として参加してみたいと思うか」については，「参加してもよい」が 52.4%と最も高く，次いで「参加したくない」が 32.7%となっています。

年齢別でみると，「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた方の割合は，「70～74歳」で 64.8%と最も高く，概ね年齢が上がるとともに低くなっています。



【年齢別】

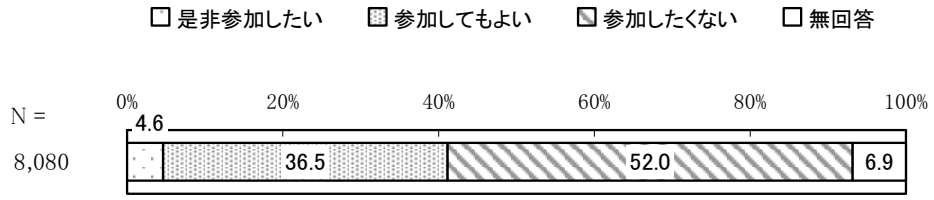


（５）健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営への参加意向

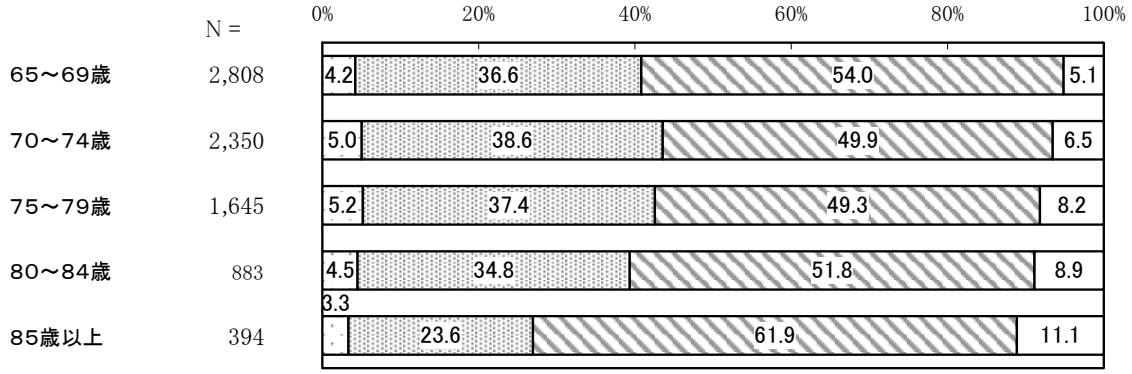
問８Q13. 地域住民の有志によって，健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って，いきいきした地域づくりを進めるとしたら，あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。＜○は１つ＞

「活動に企画・運営として参加してみたいと思うか」については，「参加したくない」が 52.0％と最も高く，次いで「参加してもよい」が 36.5％となっています。

年齢別でみると，「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合は，「70～74 歳」で 43.6％と最も高く，そこから年齢が下がるとともに低くなっています。



【年齢別】



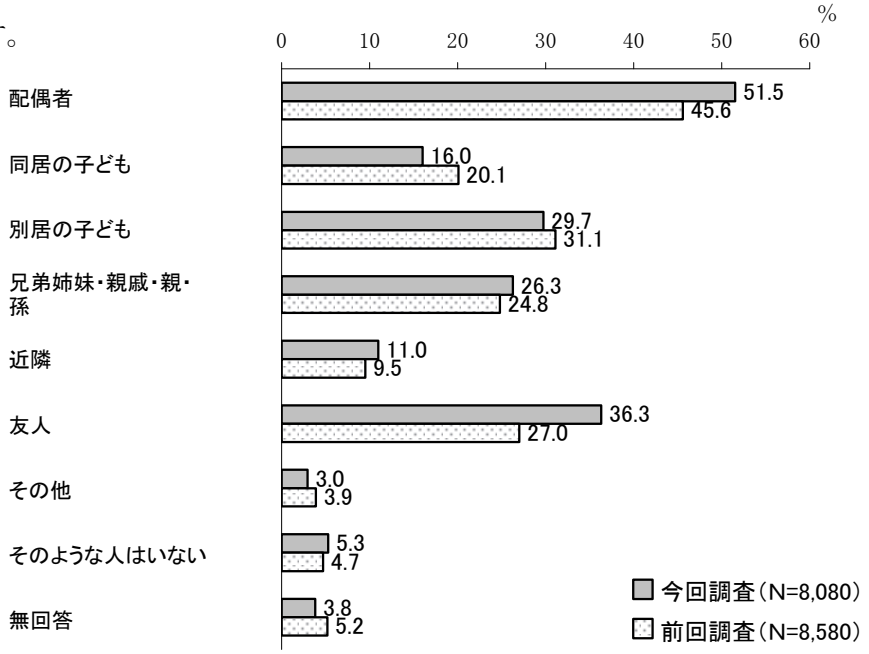
（６）たすけあいの状況

問８Q14. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
＜（１）から（４）までそれぞれあてはまるものすべてに○ ＞

① あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

「心配事や愚痴を聞いてくれる人」については，「配偶者」が 51.5%と最も高く，次いで「友人」が 36.3%，「別居の子ども」が 29.7%となっています。

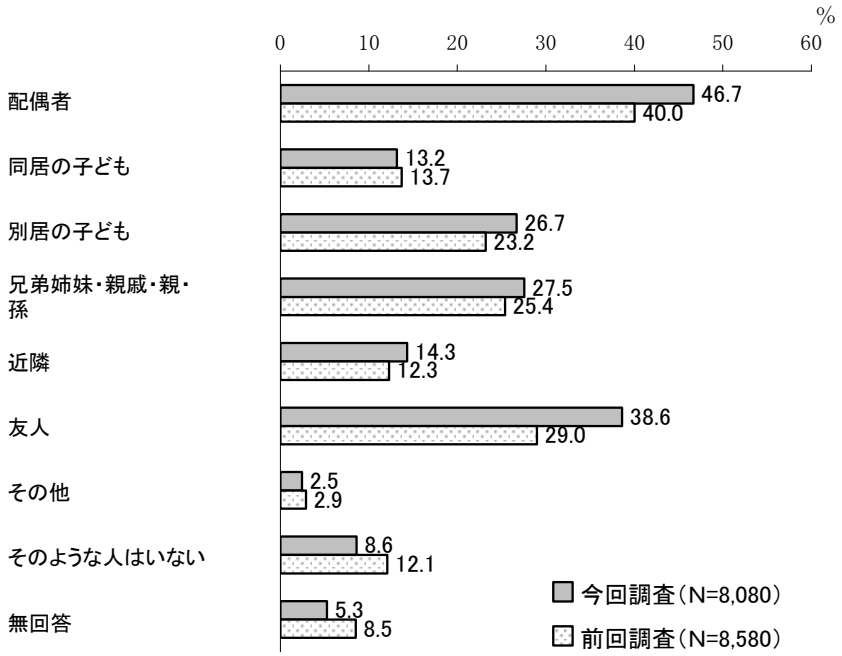
前回調査と比較すると，「友人」が 9.3 ポイント，「配偶者」が 5.9 ポイント増加しています。



② 反対に，あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

「心配事や愚痴を聞いてあげる人」については，「配偶者」が 46.7%と最も高く，次いで「友人」が 38.6%，「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 27.5%となっています。

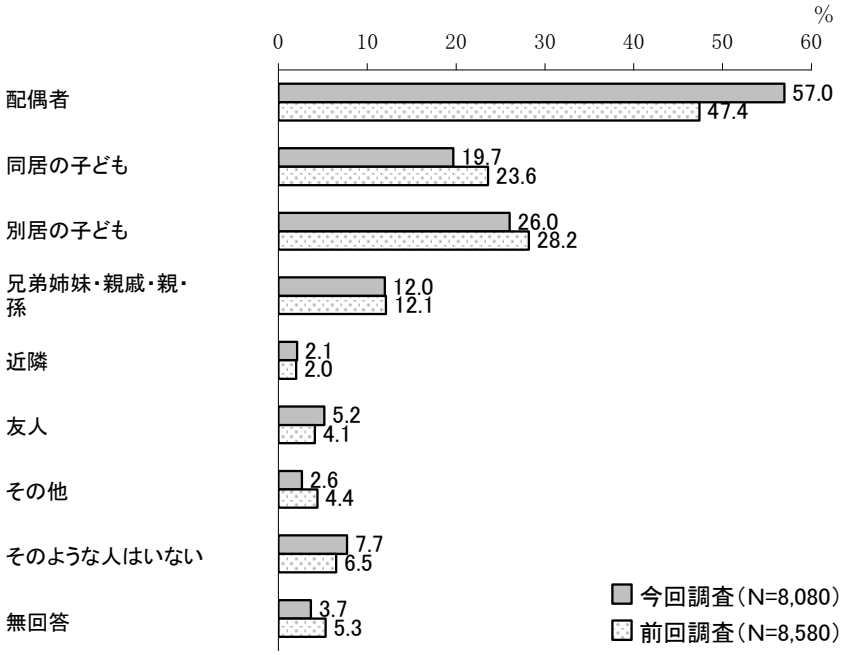
前回調査と比較すると，「友人」が 9.6 ポイント，「配偶者」が 6.7 ポイント増加しています。



③　あなたが病気で数日間寝込んだときに，看病や世話をしてくれる人

「病気で数日間寝込んだときに，看病や世話をしてくれる人」については，「配偶者」が57.0%と最も高く，次いで「別居の子ども」が26.0%，「同居の子ども」が19.7%となっています。

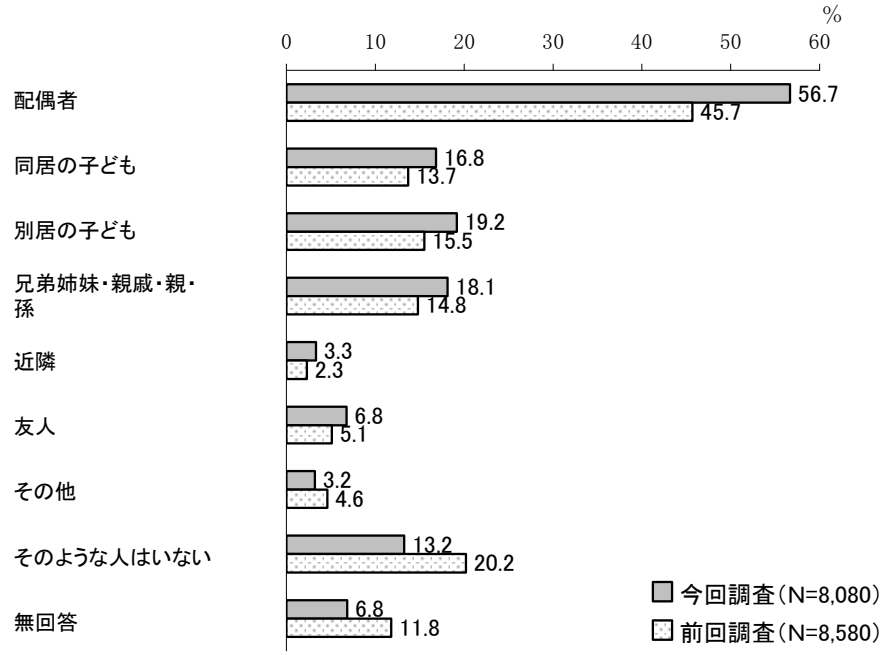
前回調査と比較すると，「配偶者」が9.6ポイント増加しています。



④ 反対に，あなたが看病や世話をしてあげる人

「看病や世話をしてあげる人」については，「配偶者」が56.7%と最も高く，次いで「別居の子ども」が19.2%，「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.1%となっています。

前回調査と比較すると，「配偶者」が11.0ポイント増加しています。一方で，「そのような人はいない」が7.0ポイント減少しています。



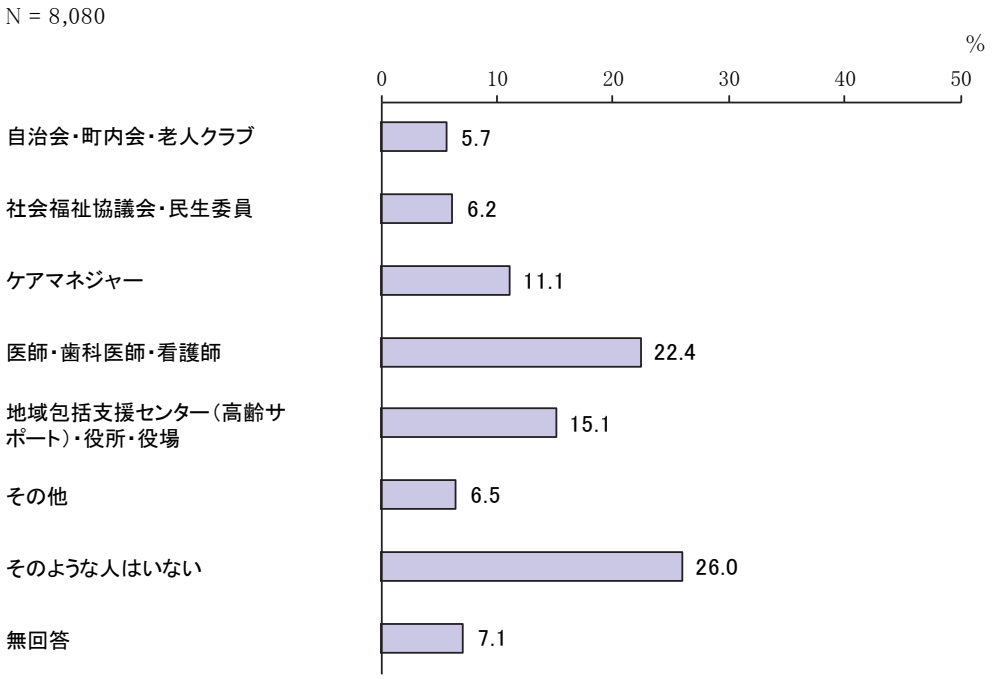
（７）家族や友人･知人以外での相談相手

問８Q15. あなたが家族や友人･知人以外で，何かあったときに相談する相手を教えてください。＜あてはまるものすべてに○＞

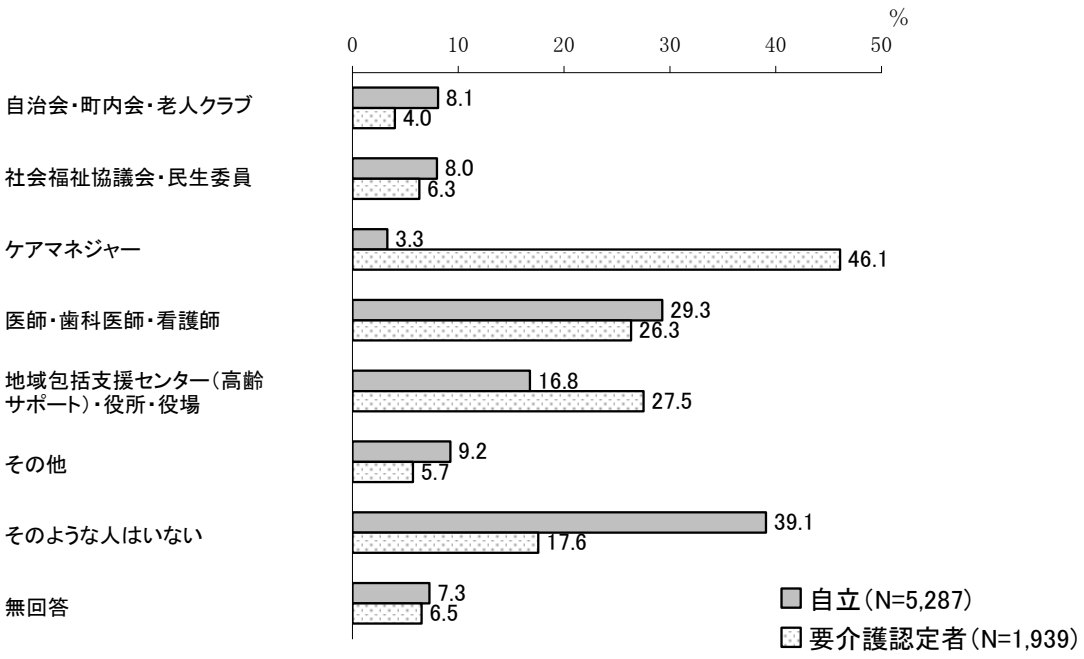
家族や友人･知人以外での相談相手については,「そのような人はいない」が 26.0%と最も高く，次いで「医師・歯科医師・看護師」が 22.4%，「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」が 15.1%となっています。

自立・要介護別でみると，「要介護認定者」では「ケアマネジャー」が 46.1%と高く，「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」，「医師・歯科医師・看護師」の割合も高くなっています。また，「そのような人はいない」は「自立」に比べて低くなっています。

家族構成別でみると，全体において，「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」は「一人暮らし」で「家族などと同居」より 7.6 ポイント高くなっています。また，「医師・歯科医師・看護師」，「そのような人はいない」は「家族などと同居」で「一人暮らし」より高くなっています。自立において，「そのようなは人はいない」，「医師・歯科医師・看護師」は「家族などと同居」で「一人暮らし」より高くなっています。要介護認定者において，「地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場」は「一人暮らし」で「家族などと同居」より高くなっています。



【自立・要介護別】



【家族構成別】

単位：％

区分		有効回答数（件）	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター（高齢サポート）・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全体	一人暮らし	1,819	6.3	11.1	16.6	27.0	25.0	6.4	23.1	9.2
	家族などと同居（二世帯住宅を含む）	6,166	8.9	7.7	13.0	31.7	17.4	7.6	31.9	10.6
自立	一人暮らし	992	7.5	12.3	2.2	29.2	24.9	7.1	33.0	11.4
	家族などと同居（二世帯住宅を含む）	4,832	11.8	11.1	4.1	40.0	21.5	10.1	44.2	11.5
要介護認定者	一人暮らし	575	4.5	10.2	47.9	29.2	33.7	6.8	11.8	7.3
	家族などと同居（二世帯住宅を含む）	1,508	4.6	5.5	46.5	29.2	25.8	4.3	18.0	13.5

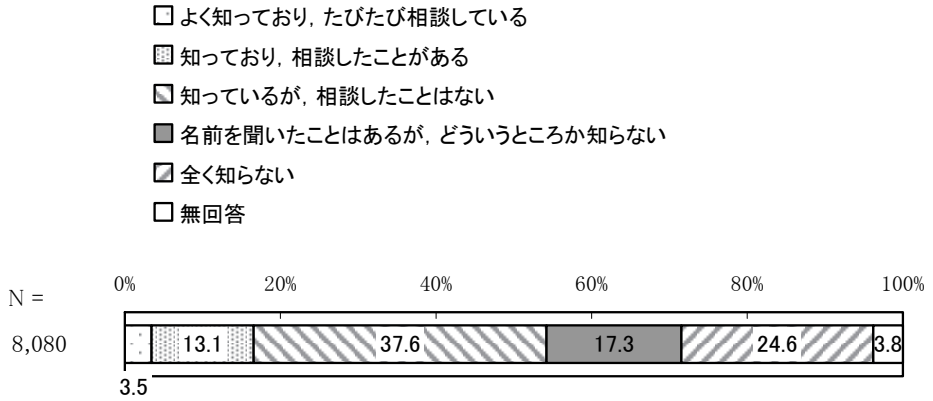
（８）地域包括支援センターの認知・利用状況

問８Q16. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また，相談したことはありますか。＜○は１つ＞

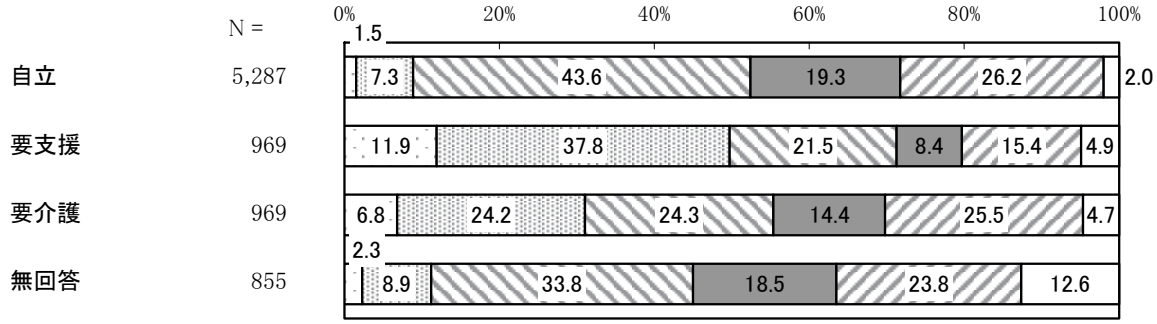
地域包括支援センター（高齢サポート）の認知・利用状況については，「知っているが，相談したことはない」が 37.6%と最も高く，次いで「全く知らない」が 24.6%，「名前を聞いたことはあるが，どういうところか知らない」が 17.3%となっています。

自立・要介護別でみると，「よく知っており，たびたび相談している」と「知っており，相談したことがある」，「知っているが，相談したことはない」を合わせた“知っている”割合は，「要支援」で 71.2%と，「自立」，「要介護」より高くなっています。

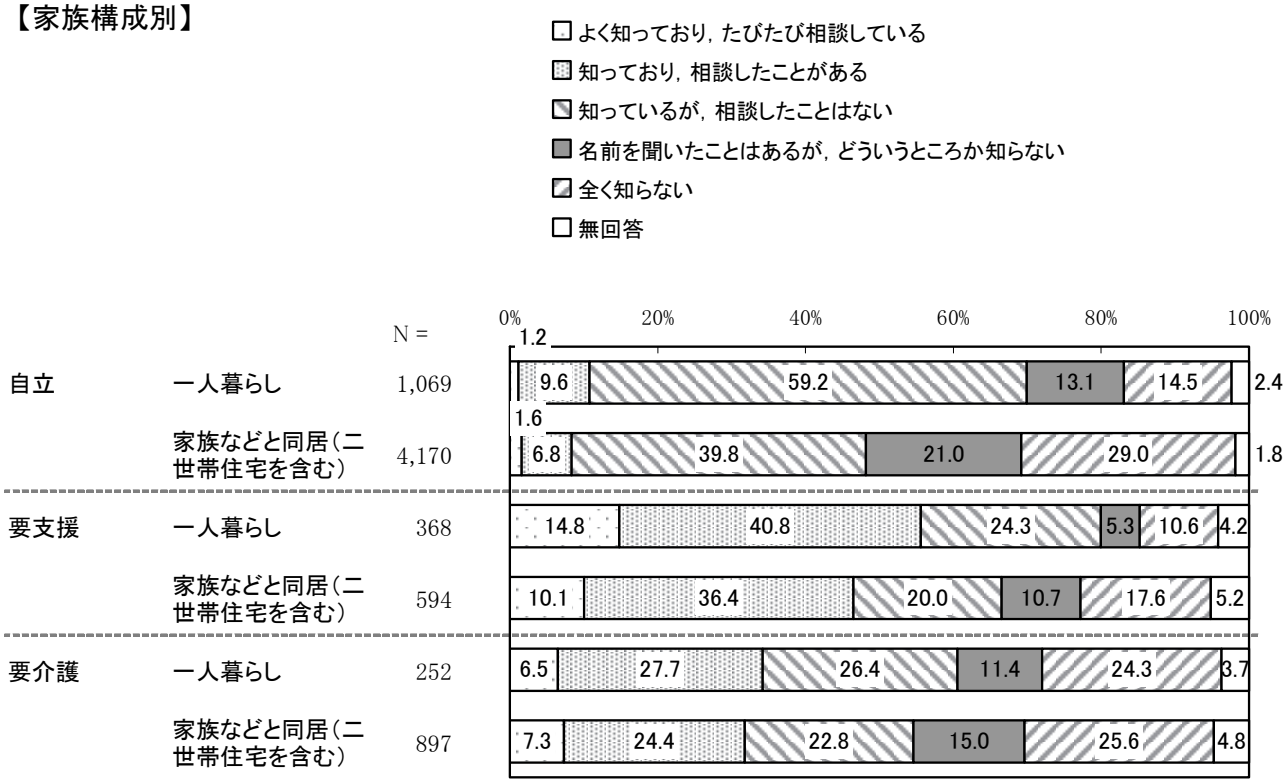
家族構成別でみると，「自立」において“知っている”割合は，「一人暮らし」で 70.0%と，「家族などと同居」より 21.8 ポイント高くなっています。



【自立・要介護別】



【家族構成別】


よく知っており，たびたび相談している
知っており，相談したことがある
知っているが，相談したことはない
名前を聞いたことはあるが，どういうところか知らない
全く知らない
無回答
N =
0%
20%
40%
60%
80%
100%
自立
一人暮らし
1,069
1.2
9.6
59.2
13.1
14.5
2.4
家族などと同居（二世帯住宅を含む）
4,170
1.6
6.8
39.8
21.0
29.0
1.8
要支援
一人暮らし
368
14.8
40.8
24.3
5.3
10.6
4.2
家族などと同居（二世帯住宅を含む）
594
10.1
36.4
20.0
10.7
17.6
5.2
要介護
一人暮らし
252
6.5
27.7
26.4
11.4
24.3
3.7
家族などと同居（二世帯住宅を含む）
897
7.3
24.4
22.8
15.0
25.6
4.8

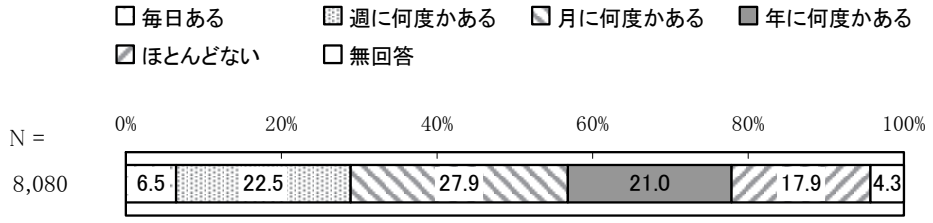
（９）友だち・知人に会う頻度

問８Q17. あなたの友人関係についておうかがいします。

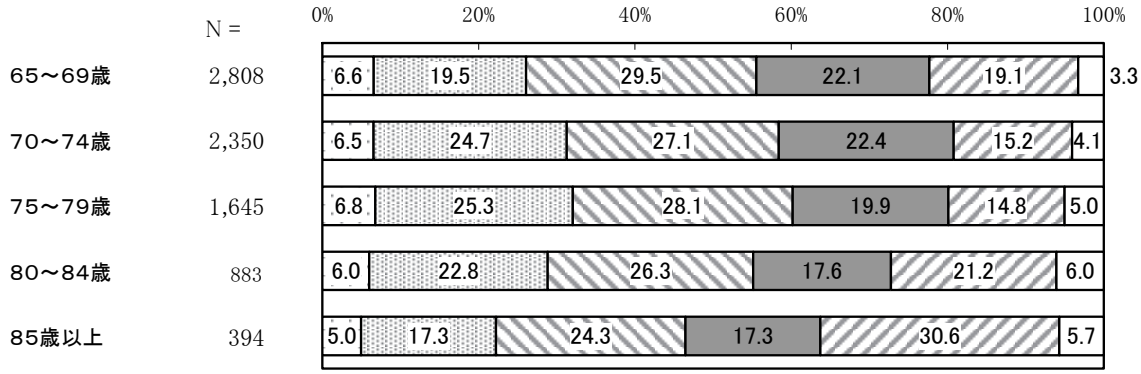
（１）あなたが友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。＜○は１つ＞

友人・知人と会う頻度については,「月に何度かある」が 27.9%と最も高く，次いで「週に何度かある」が 22.5%,「年に何度かある」が 21.0%となっています。

年齢別でみると，友人・知人と頻度に関わらず会っている方の割合は， 65～84 歳で７割以上となっています。一方,「85 歳以上」では,「ほとんどない」が 30.6%と最も高くなっています。



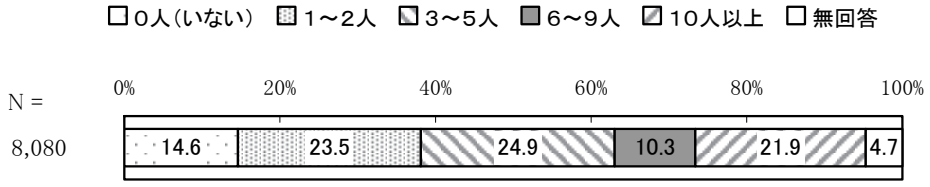
【年齢別】



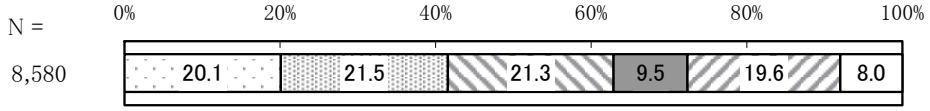
（２）あなたはこの１箇月間，何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても１人と数えることとします。＜○は１つ＞

この１箇月間に会った友人・知人の人数は,「３～５人」が 24.9%と最も高く，次いで「１～２人」が 23.5%,「１０人以上」が 21.9%となっています。

前回調査と比較すると,「０人（いない)」が 5.5 ポイント減少しています。



【前回調査（平成 25 年)】

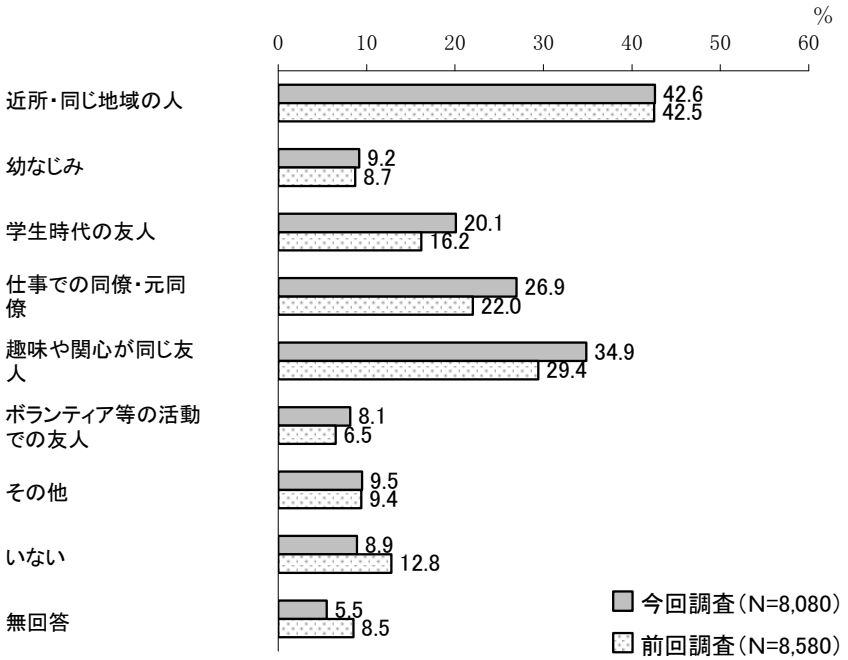


（３）あなたがよく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。

＜あてはまるものすべてに○＞

よく会う友人・知人との関係については，「近所・同じ地域の人」が 42.6％と最も高く，次いで「趣味や関心が同じ友人」が 34.9％，「仕事での同僚・元同僚」が 26.9％となっています。

前回調査と比較すると，「趣味や関心が同じ友人」は 5.5 ポイント増加しています。



９　健康について（問９）

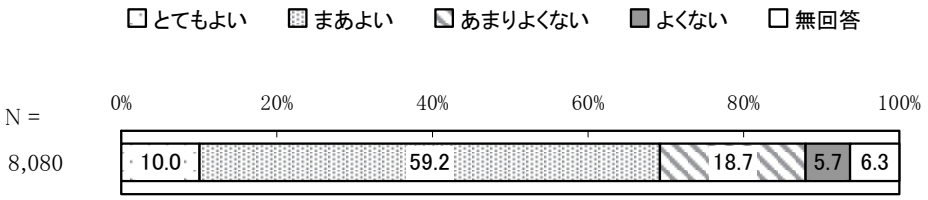
（１）主観的健康観

問９Ｑ１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。＜○は１つ＞

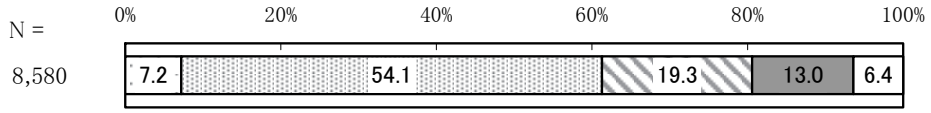
「健康状態」については,「まあよい」が 59.2%と最も高く,次いで「あまりよくない」が 18.7%,「とてもよい」が 10.0%となっています。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”の割合は 69.2%,「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“よくない”の割合は 24.4%となっています。

前回調査と比較すると,“よい”の割合は 7.9 ポイント増加しています。

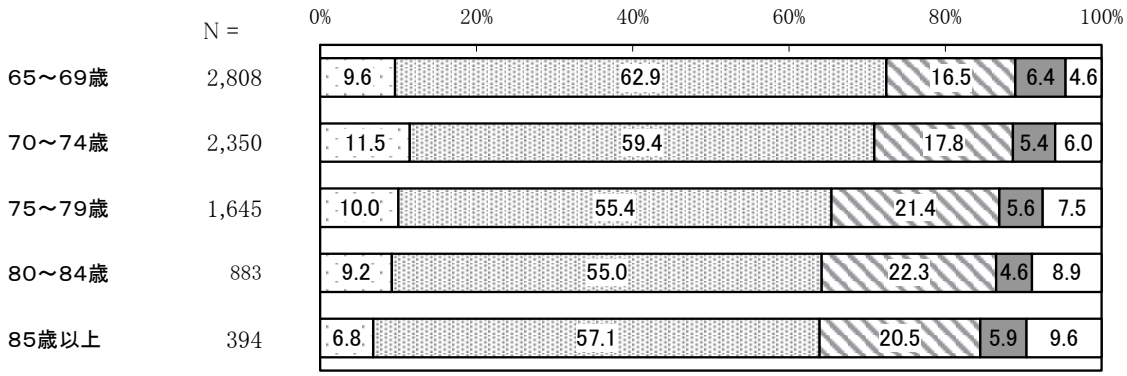
年齢別でみると,“よい”の割合は,「65～69 歳」で 72.5%と最も高く，年齢が上がるとともに減少しています。



【前回調査（平成 25 年）】



【年齢別】



（２）現在治療中の病気

問９Ｑ２．あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。
＜あてはまるものすべてに○＞

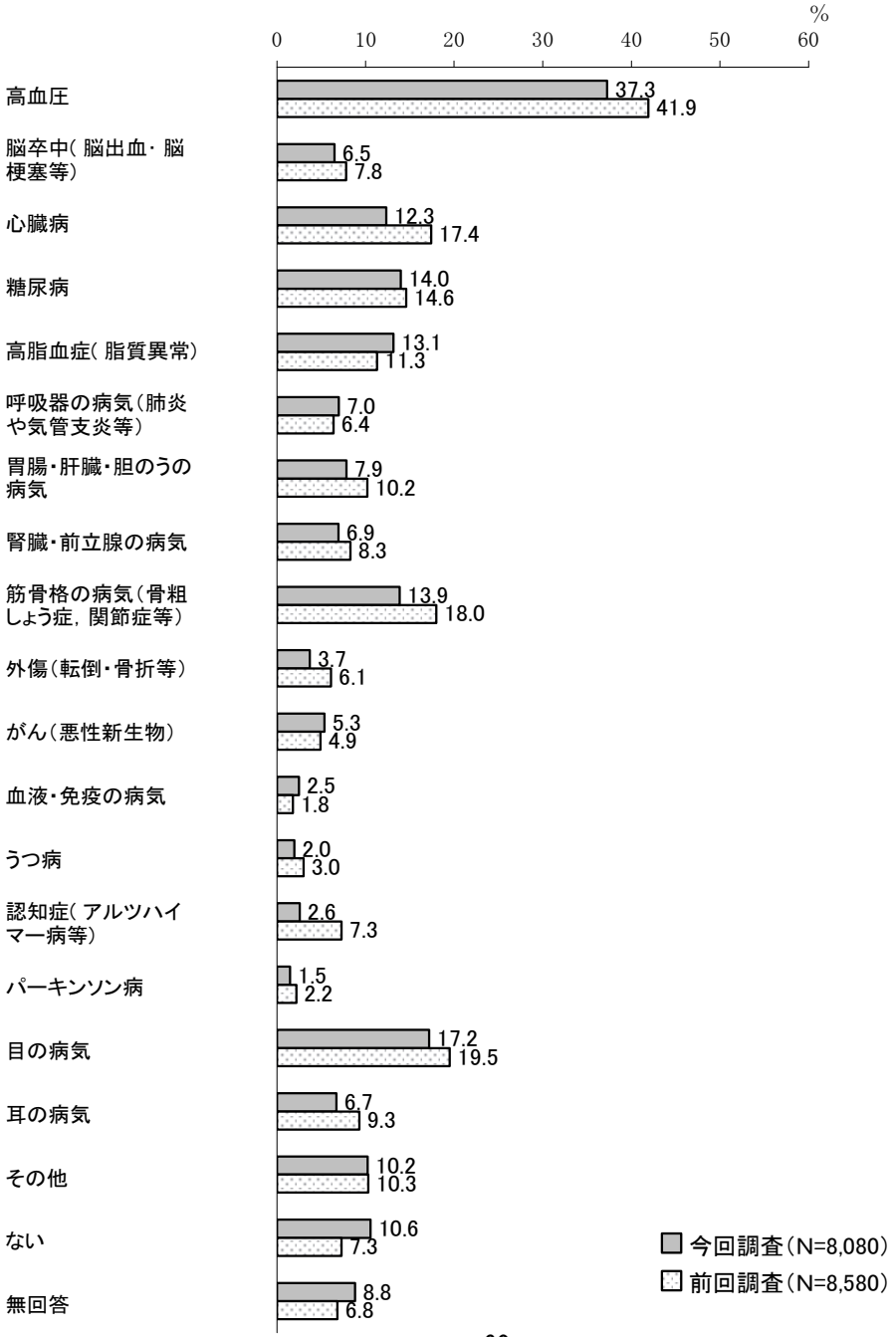
「現在治療中又は後遺症のある病気」については,「高血圧」が 37.3%と最も高く，次いで「目の病気」が 17.2%,「糖尿病」が 14.0%となっています。

前回調査と比較すると,「心臓病」が 5.1 ポイント減少しています。

年齢別でみると,「高血圧」,「心臓病」,「腎臓・前立腺の病気」,「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等)」,「外傷（転倒・骨折等)」,「認知症（アルツハイマー病等)」,「目の病気」,「耳の病気」は概ね年齢が上がるとともに高くなっています。

要介護度別でみると，全ての要介護度で「高血圧」の割合が 30%以上と最も高くなっています。「脳卒中（脳出血・脳梗塞等)」は概ね要介護度が上がるとともに割合が高くなっています。

日常生活の中での不自由点別でみると,「高血圧」,「心臓病」,「糖尿病」,「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等)」,「目の病気」はすべての項目において高い割合を占めています。



【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
65～69 歳	2,808	31.9	7.0	8.4	13.9	15.8	6.4	7.8	5.1	10.2	3.5	6.0	2.6	2.1	2.3	1.7	12.8	4.7	12.1	14.2	8.4
70～74 歳	2,350	39.7	7.4	11.5	14.1	13.1	6.8	7.1	6.3	13.0	3.2	4.8	2.7	2.1	2.0	1.6	17.4	6.3	9.5	9.6	9.5
75～79 歳	1,645	39.7	5.6	15.0	14.4	11.4	8.2	8.2	8.6	17.6	3.5	5.5	2.4	2.1	2.4	1.3	21.1	7.6	10.0	8.5	8.5
80～84 歳	883	41.1	5.2	18.9	14.3	10.6	7.5	9.2	9.6	18.6	5.1	5.1	2.5	1.1	4.1	1.2	20.9	10.0	7.9	6.7	9.1
85 歳以上	394	42.2	4.3	18.9	11.6	7.3	5.7	8.3	10.5	18.9	5.9	4.4	1.0	1.1	5.8	0.8	22.5	12.2	7.6	7.1	8.9

【要介護度別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
要支援1	430	37.7	6.6	17.4	15.2	11.2	6.2	9.0	6.9	24.4	5.9	6.8	2.6	2.6	3.0	1.6	20.2	10.3	9.8	1.4	5.5
要支援2	480	43.2	10.9	21.7	16.8	8.8	9.2	12.9	9.7	29.5	7.6	7.2	4.1	4.7	2.7	3.3	24.7	11.1	12.7	2.3	3.5
要介護1	265	36.3	10.9	19.5	15.8	7.0	9.9	7.9	7.9	20.8	7.6	6.6	3.0	2.6	16.5	5.0	16.2	6.6	10.5	3.3	4.3
要介護2	301	35.2	23.7	16.8	20.8	7.6	11.1	8.1	9.3	24.7	10.2	10.0	5.5	3.9	16.3	3.9	21.3	9.3	11.1	1.2	3.9
要介護3	191	38.0	28.4	19.0	17.9	7.3	11.7	10.1	8.4	16.7	13.4	5.0	3.3	3.9	26.3	7.3	15.7	7.8	11.7	1.7	6.1
要介護4	97	37.0	31.7	19.0	16.9	3.1	15.8	12.7	11.6	17.9	8.4	8.4	1.0	5.3	21.1	5.3	25.3	13.7	10.5	2.1	5.3
要介護5	105	32.4	29.9	13.8	18.7	8.7	10.0	3.8	11.2	13.8	2.5	6.2	2.5	2.5	34.8	16.2	14.9	3.8	13.8	2.5	4.9

【日常生活の中の不自由点別】

単位：%

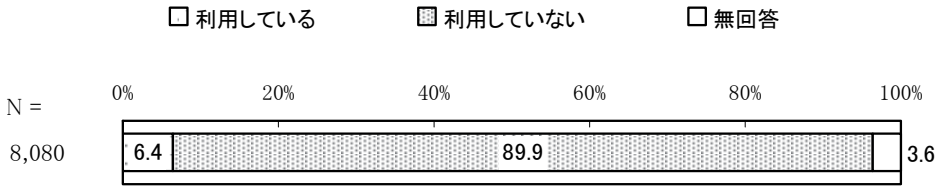
区分	有効回答数（件）	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
食事の準備・後片付けをすること	1,059	36.4	8.7	18.1	16.5	9.3	9.7	9.9	10.5	18.5	6.2	5.3	2.5	3.5	5.7	2.2	21.0	11.3	8.5	3.9	5.5
掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	1,048	37.2	8.1	17.6	14.8	8.6	8.9	9.3	9.9	19.4	6.4	5.9	2.7	2.8	4.8	1.8	20.5	9.4	9.0	3.8	5.4
衣服の着脱・食事・入浴に関すること	676	36.3	17.1	17.7	18.0	6.0	9.3	8.2	8.7	18.0	9.4	6.7	2.8	3.0	11.7	4.4	19.7	10.3	9.3	3.8	3.6
身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと	602	40.0	10.0	18.5	15.6	12.9	10.2	10.9	12.7	19.2	3.8	8.0	4.9	1.8	3.5	1.7	24.9	10.7	10.2	6.9	6.0
段差や間取り，耐震など住まいの建物構造に関すること	1,055	41.3	5.4	17.7	13.7	14.6	8.8	10.6	9.8	22.7	7.1	6.6	3.5	2.2	2.5	0.8	24.5	9.8	12.1	6.8	7.6
契約や財産管理の手続きをすること	448	33.4	5.1	15.3	14.4	12.2	5.7	10.3	7.1	16.7	4.9	4.2	3.1	2.6	6.2	0.8	22.7	10.0	6.9	6.5	4.6
相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと	361	38.9	5.3	18.3	15.4	9.7	10.6	10.9	15.4	19.5	6.2	7.1	2.1	2.9	3.5	1.5	23.9	11.8	14.1	8.5	8.0
外出時の移動が負担であること	713	36.2	11.3	17.8	15.8	8.8	9.0	7.3	9.3	22.4	7.2	6.6	2.0	2.1	7.6	3.0	19.1	9.7	9.9	1.7	4.0
病院に通院すること	602	40.2	10.6	20.8	19.2	8.5	9.5	9.1	12.3	19.3	7.6	8.7	3.2	2.8	6.5	2.3	23.7	12.2	8.3	1.6	4.0
近くに話し相手がいないこと	496	36.6	4.5	14.9	14.2	10.6	8.2	10.2	9.7	17.9	3.4	6.2	2.6	3.3	4.0	1.6	20.3	9.2	9.5	6.1	9.0
自分を介助する家族などの負担が大きいこと	317	34.3	20.1	19.9	20.1	6.2	12.1	8.5	10.5	15.0	10.1	7.0	3.1	1.8	17.8	6.2	21.4	9.0	10.3	1.5	2.8
買い物したり，荷物を持ち運ぶこと	1,143	36.1	5.9	16.0	13.9	9.5	7.3	10.0	7.2	24.8	7.3	5.3	2.6	2.0	3.5	1.4	21.8	9.3	9.3	3.2	4.3
高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと	481	35.2	3.3	15.0	14.8	11.6	6.8	9.6	10.7	16.9	3.1	6.2	3.3	2.9	2.7	1.4	22.1	11.4	9.4	6.4	6.7
住宅の軽微な修繕に関すること	1,173	38.4	5.6	15.0	12.9	13.7	8.2	10.9	9.6	22.0	5.7	5.9	3.0	2.2	2.1	0.2	24.9	9.2	11.1	7.7	6.1
電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をすること	1,624	35.5	4.9	13.5	12.1	11.6	5.8	8.8	7.2	21.8	5.7	4.8	2.4	1.7	1.9	0.8	21.6	8.5	9.5	4.9	5.8
その他	686	39.9	4.1	14.7	12.4	14.8	6.2	10.3	8.8	12.4	3.0	6.4	1.5	0.9	3.2	1.1	18.9	8.9	15.6	16.0	6.4

（３）訪問診療の利用状況

問９Ｑ３．あらかじめ，かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて，月１～２回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは，現在，訪問診療を利用していますか。＜○は１つ＞

「現在，訪問診療を利用しているか」については，「利用している」が 6.4%，「利用していない」が 89.9%となっています。

年齢別でみると，「利用している」の割合は，概ね年齢が上がるとともに高くなっているものの，大きな差異はみられません。



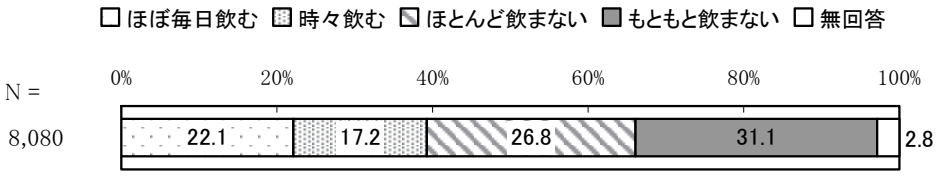
【年齢別】

（４）飲酒の状況

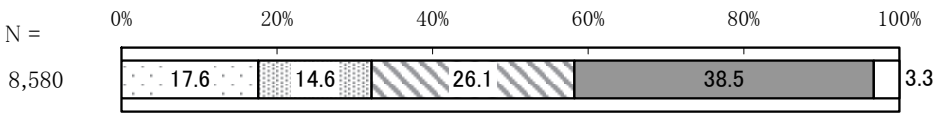
問９Ｑ４．あなたはお酒を飲みますか。＜○は１つ＞

「お酒を飲むか」については，「もともと飲まない」が 31.1%と最も高く，次いで「ほとんど飲まない」が 26.8%，「ほぼ毎日飲む」が 22.1%となっています。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた“飲む”の割合は 39.3%，「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた“飲まない”の割合は 57.9%となっています。

前回調査と比較して，“飲む”の割合は 7.1 ポイント増加しています。



【前回調査（平成 25 年）】

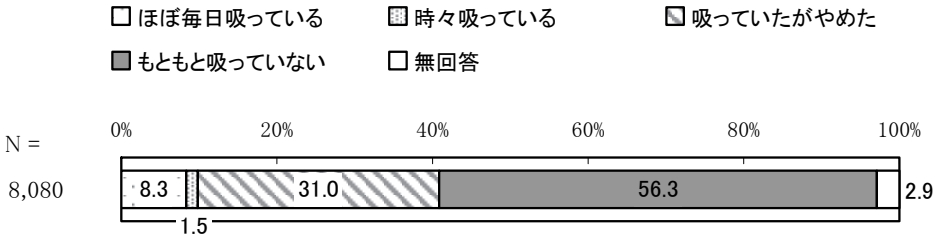


（５）喫煙習慣

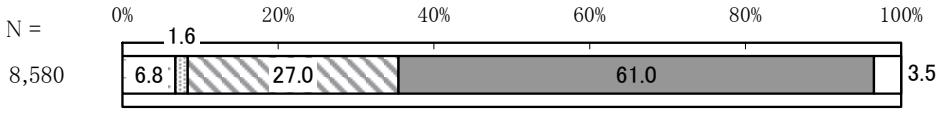
問９Ｑ５．あなたはタバコを吸っていますか。＜○は１つ＞

「タバコを吸っているか」については，「もともと吸っていない」が 56.3％と最も高く，次いで「吸っていたがやめた」が 31.0％となっています。

前回調査と比較して，大きな差異はみられません。



【前回調査（平成 25 年)】

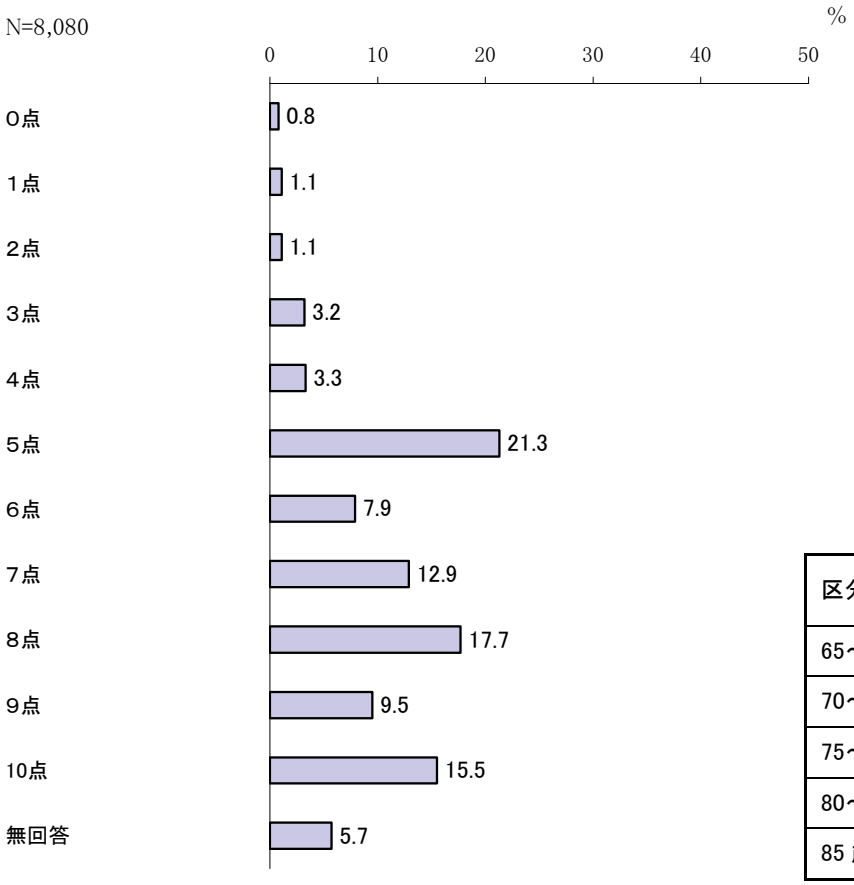


（６）現在の幸せの程度

問９Ｑ６．あなたは現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を０点，「とても幸せ」を１０点として，御記入ください。）＜○は１つ＞

現在の幸せの程度では，「５点」が 21.3%と最も高く，次いで「８点」が 17.7%，「10 点」が 15.5%となっており，５点以上は 84.8%となっています。

年齢別でみると，各年齢階層の現在の幸せの程度の点数を平均化して比較すると，「85 歳以上」が 7.24 点と最も高く，概ね年齢が上がるとともに評価が高くなっています。



区分	平均点
65～69 歳	6.66
70～74 歳	6.83
75～79 歳	6.81
80～84 歳	7.18
85 歳以上	7.24

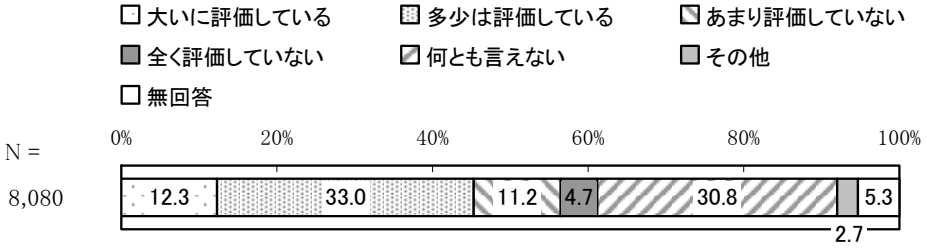
10　介護保険制度等について（問 10）

（１）介護保険制度への評価

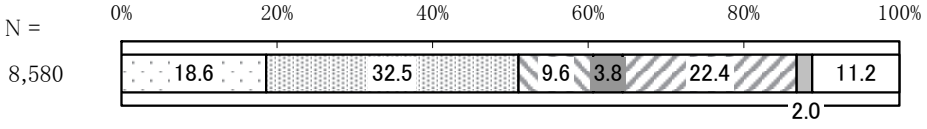
問 10Ｑ１．あなたの介護保険制度への評価として，御自身の考えに近いものは次のどれですか。＜○は１つ＞

介護保険制度への評価については，「多少は評価している」が 33.0％と最も高く，次いで「何とも言えない」が 30.8％，「大いに評価している」が 12.3％となっています。「大いに評価している」と「多少は評価している」を合わせた“評価している”の割合は 45.3％，「あまり評価していない」と「全く評価していない」を合わせた“評価していない”の割合は 15.9％となっています。

前回調査と比較して，“評価している”の割合は 5.8 ポイント減少しています。



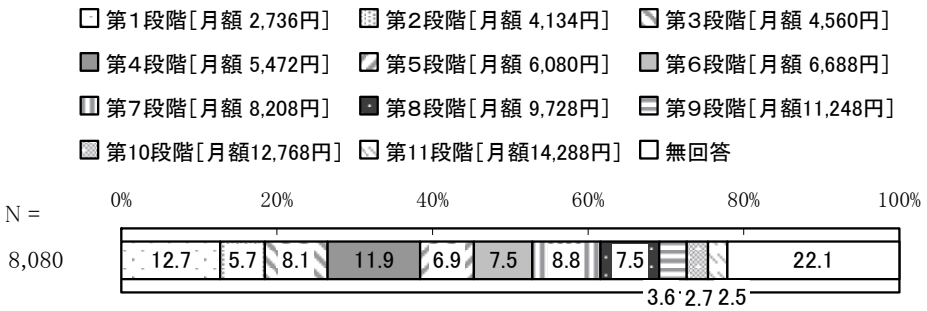
【前回調査（平成 25 年）】



（２）介護保険料の「段階区分」

問 10Ｑ２．あなたの介護保険料の「段階区分」は次のどれですか。＜○は１つ＞

回答者の介護保険料の段階区分については，「第１段階［月額 2,736 円］」が 12.7％と最も高く，次いで「第４段階［月額 5,472 円］」が 11.9％，「第７段階［月額 8,208 円］」が 8.8％となっています。

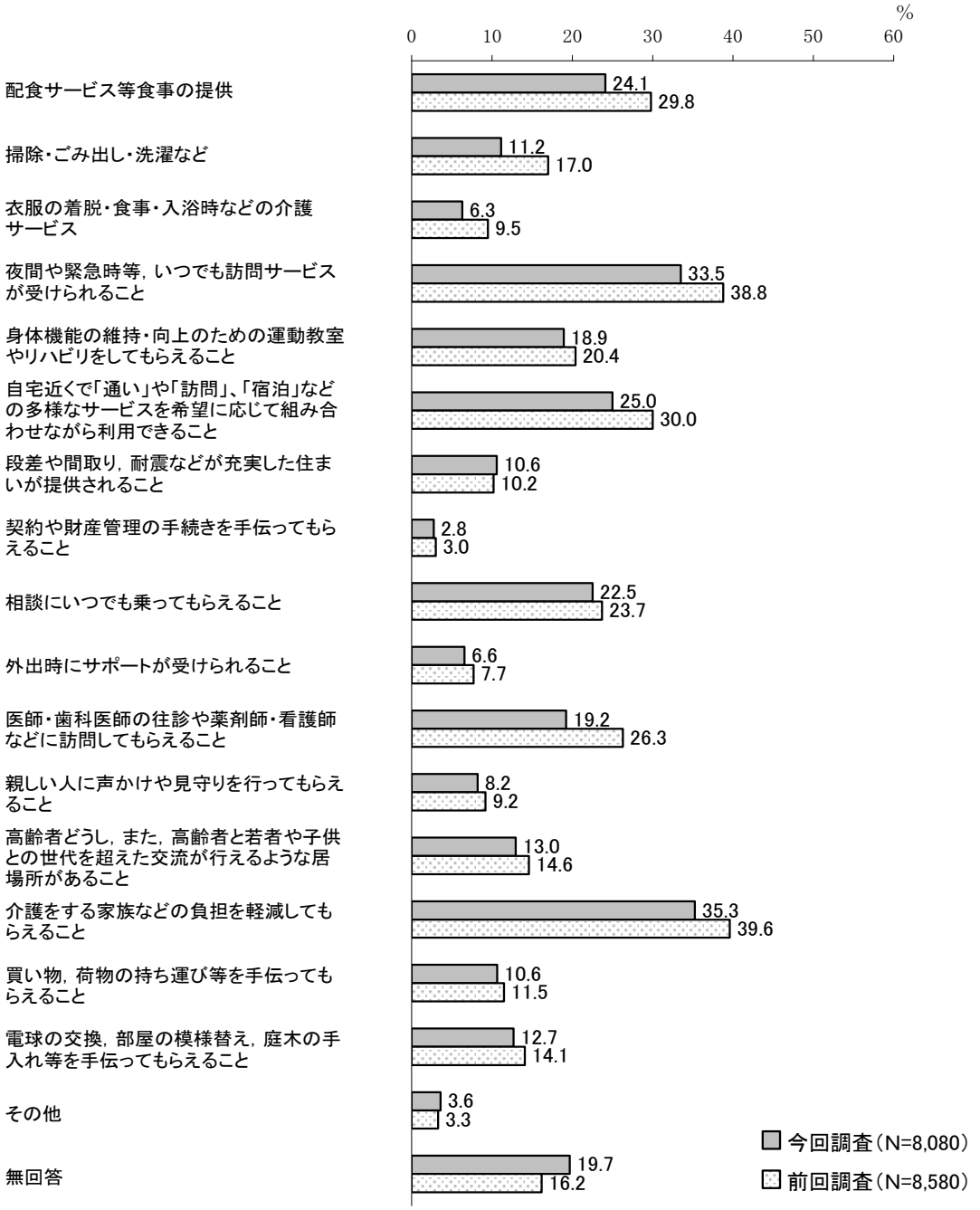


（３）住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援

問 10Ｑ３．あなたは，今後も住み慣れた地域で生活を続けるには，どのような支援を充実すべきだと思いますか。＜○は５つまで。うち最もそう感じるものに◎＞

住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援については，「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が 35.3%と最も高く，次いで「夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること」が 33.5%，「自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合せて利用できること」が 25.0%となっています。

前回調査と比較すると，「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること」，「掃除・ごみ出し・洗濯など」，「配食サービス等食事の提供」，「夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること」，「自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること」が 5 ポイント以上減少しています。



年齢別でみると，「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること」，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」では，概ね年齢が上がるとともに割合が高くなっています。一方，「身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること」，「段差や間取り，耐震などが充実した住まいが提供されること」，「相談にいつでも乗ってもらえること」，「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」では，概ね年齢が下がるとともに割合が高くなっています。

要介護度別でみると，「自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合せて利用できること」では，要介護１～５で 20%以上と要支援より高くなっています。「夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること」では全ての要介護度で，「配食サービス等食事の提供」，「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」では要支援２～要介護５で 20%以上と高くなっています。また，「掃除・ごみ出し・洗濯など」，「買い物，荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」では，要支援２が最も高くなっています。

家族構成別でみると，「一人暮らし」では，「買い物，荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」，「電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」は「家族などとの同居」より高くなっています。一方，「家族などと同居」では，「身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること」，「自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること」，「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」，「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること」は「一人暮らし」より高くなっています。

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービスなど	夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること	身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること	自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	段差や間取り，耐震などが充実した住まいが提供されること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物，荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること	その他	無回答
65～69 歳	2,808	25.1	11.7	7.1	33.2	20.5	26.8	11.4	3.6	23.3	7.6	18.5	8.4	12.8	38.8	9.7	10.8	3.6	16.9
70～74 歳	2,350	24.9	10.3	6.0	34.4	20.8	27.8	11.0	2.0	23.9	5.5	18.2	7.8	14.7	34.8	10.7	12.6	3.4	18.2
75～79 歳	1,645	22.3	10.3	5.0	32.9	16.8	22.6	10.6	2.4	20.6	5.9	19.9	8.1	11.8	32.8	11.2	14.3	3.8	23.4
80～84 歳	883	23.1	12.6	6.3	34.6	15.9	20.3	8.7	3.1	21.7	7.0	21.3	9.1	12.4	32.3	12.0	15.0	3.6	22.8
85 歳以上	394	21.7	12.4	7.5	30.4	12.3	15.7	6.6	2.0	18.6	6.7	22.9	8.4	10.0	29.9	11.6	14.8	3.3	25.8

【要介護度別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービスなど	夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること	身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること	自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	段差や間取り，耐震などが充実した住まいが提供されること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物，荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること	その他	無回答
要支援1	430	18.4	13.1	5.3	27.2	17.4	15.7	8.2	1.8	17.0	7.1	17.6	8.0	9.8	19.3	15.4	17.0	2.5	21.8
要支援2	480	23.9	21.7	8.4	31.7	17.1	19.2	8.8	2.1	20.6	9.9	15.0	11.3	9.0	26.4	22.7	25.4	2.3	20.2
要介護1	265	23.4	15.1	12.9	32.7	20.8	21.8	11.2	2.4	19.2	15.8	17.8	7.2	7.6	33.7	12.9	16.5	1.3	15.1
要介護2	301	26.2	21.1	17.8	31.3	16.6	24.4	7.8	1.5	15.3	14.5	24.1	7.6	8.1	40.0	16.3	13.6	3.0	14.7
要介護3	191	24.6	13.4	29.6	27.3	21.2	26.3	11.2	3.9	11.2	17.3	17.9	3.9	3.9	36.2	11.2	10.6	2.8	27.9
要介護4	97	25.3	10.5	23.2	38.0	25.3	23.2	10.5	1.0	12.7	10.5	25.3	3.1	2.1	41.1	9.5	6.4	2.1	23.2
要介護5	105	22.5	13.8	28.6	48.6	21.2	24.9	7.4	2.5	13.8	13.8	37.4	7.4	4.9	52.4	8.7	2.5	6.2	24.9

【家族構成別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービスなど	夜間や緊急時等，いつでも訪問サービスが受けられること	身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること	自宅近くで「通い」や「訪問」，「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	段差や間取り，耐震などが充実した住まいが提供されること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし，また，高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物，荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等を手伝ってもらえること	その他	無回答
一人暮らし	1,819	23.0	14.3	5.5	32.9	13.3	17.8	8.6	2.7	21.4	5.8	14.7	10.0	11.2	14.8	15.8	21.7	3.5	20.5
家族などと同居（二世帯住宅を含む）	6,166	24.5	11.0	6.7	33.9	18.7	24.4	10.3	2.7	22.2	6.8	22.7	7.9	12.8	40.3	9.8	11.1	3.7	22.1

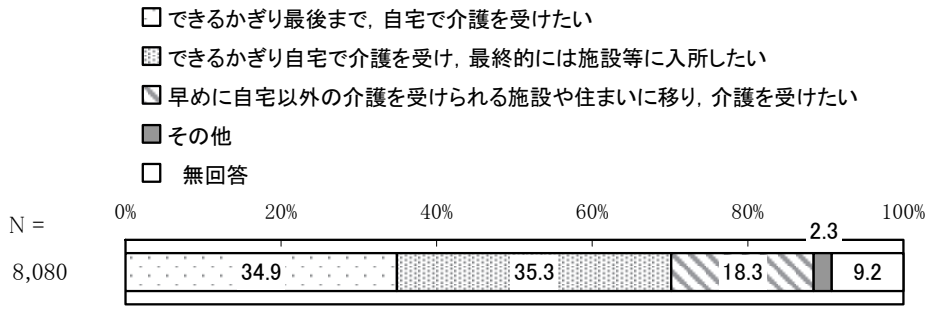
（４）介護が必要になった場合の介護を受けたい場所

問 10Ｑ４．あなたはもし，御自身に介護が必要になった場合，どこで介護を受けたいですか。＜○は１つ＞

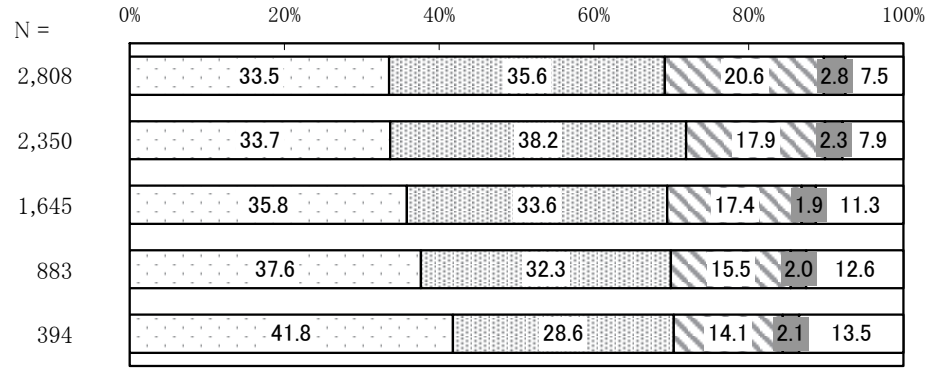
「できるかぎり自宅で介護を受け，最終的には施設等に入所したい」が 35.3％と最も高く，次いで「できるかぎり最後まで，自宅で介護を受けたい」が 34.9％，「早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り，介護を受けたい」が 18.3％となっています。

年齢別でみると，「できるかぎり最後まで，自宅で介護を受けたい」は年齢が上がるとともに高くなっています。

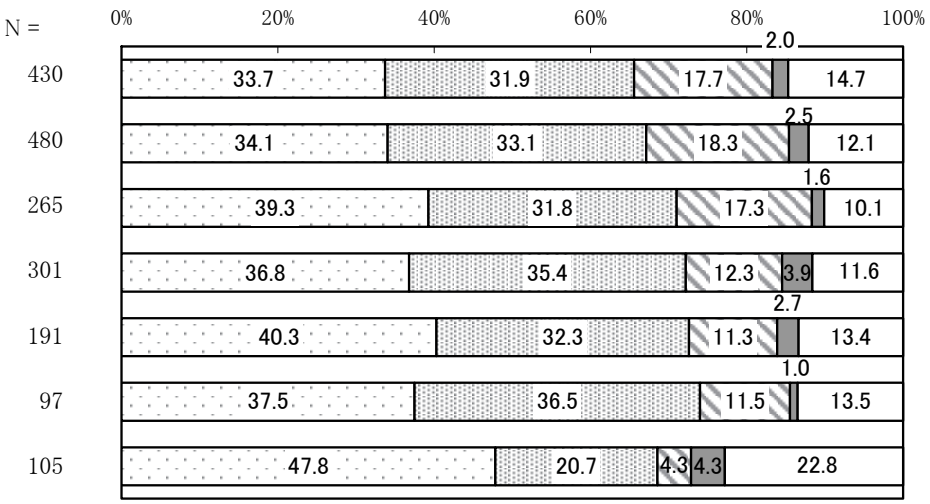
要介護度別でみると，概ね要介護度が上がるとともに，「できるかぎり最後まで，自宅で介護を受けたい」が高くなり，「早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り，介護を受けたい」が低くなっています。



【年齢別】



【要介護度別】



（５）希望する介護形態

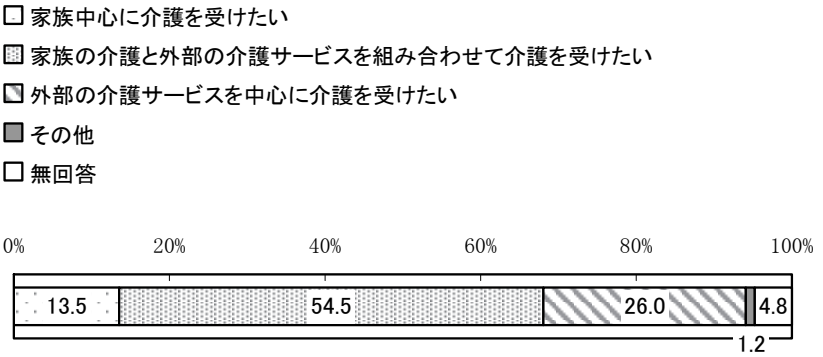
問 10Ｑ４－１．Ｑ４で「１．できるかぎり最後まで，自宅で介護を受けたい」又は「２．できるかぎり自宅で介護を受け，最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。＜○は１つ＞

できるだけ自宅で介護を受けたいと回答した人に，どのような介護を希望するかについてたずねたところ，「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が 54.5%と最も高く，次いで「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が 26.0%，「家族中心に介護を受けたい」が 13.5%となっています。

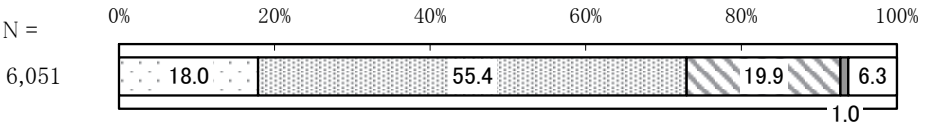
前回調査と比較すると，「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が 6.1 ポイント増加しています。

要介護度別でみると，「家族中心に介護を受けたい」は要介護５で 19.0%，「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」も要介護５で 63.5%と最も高くなっています。一方，「外部の介護サービスを中心に受けたい」は要支援２で 33.0%と最も高くなっています。

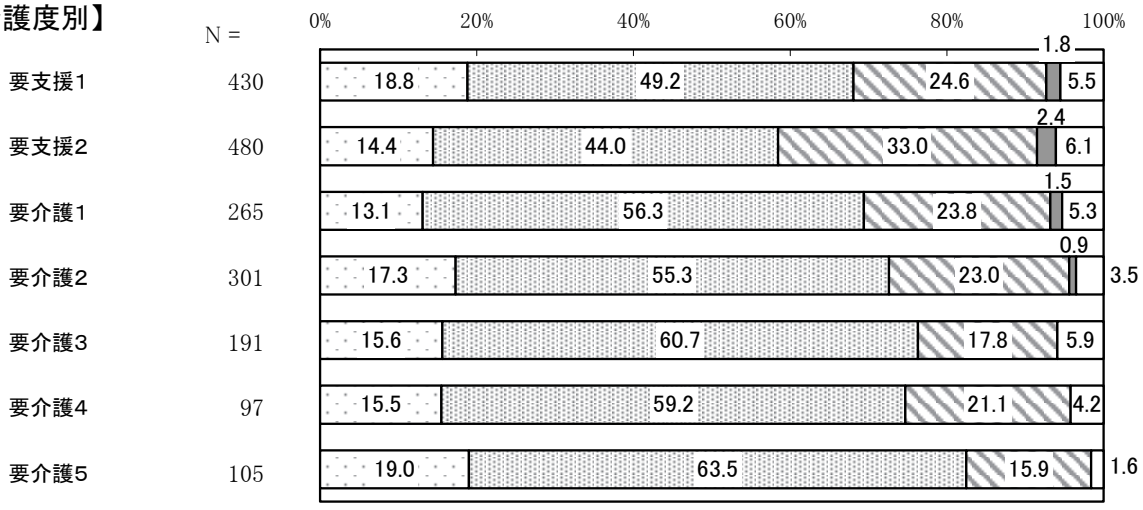
家族構成別でみると，「家族などと同居」では「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が 61.6%と「一人暮らし」より 28.1 ポイント高くなっています。一方，一人暮らしでは，「外部の介護サービスを中心に受けたい」が 42.7%と「家族などと同居」より 26.0 ポイント高くなっています。



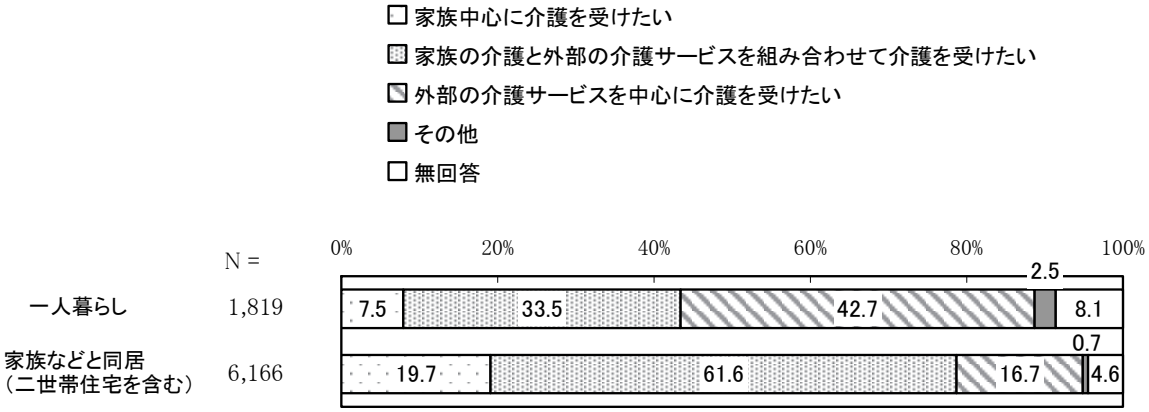
【前回調査（平成 25 年）】



【要介護度別】



【家族構成別】



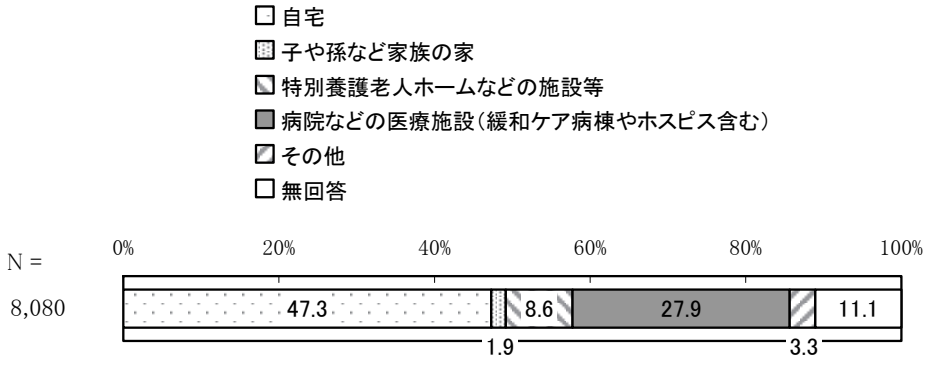
（６）人生の終末を迎えたい場所

問 10Ｑ５．あなたは，どこで人生の終末を迎えたいですか。＜○は１つ＞

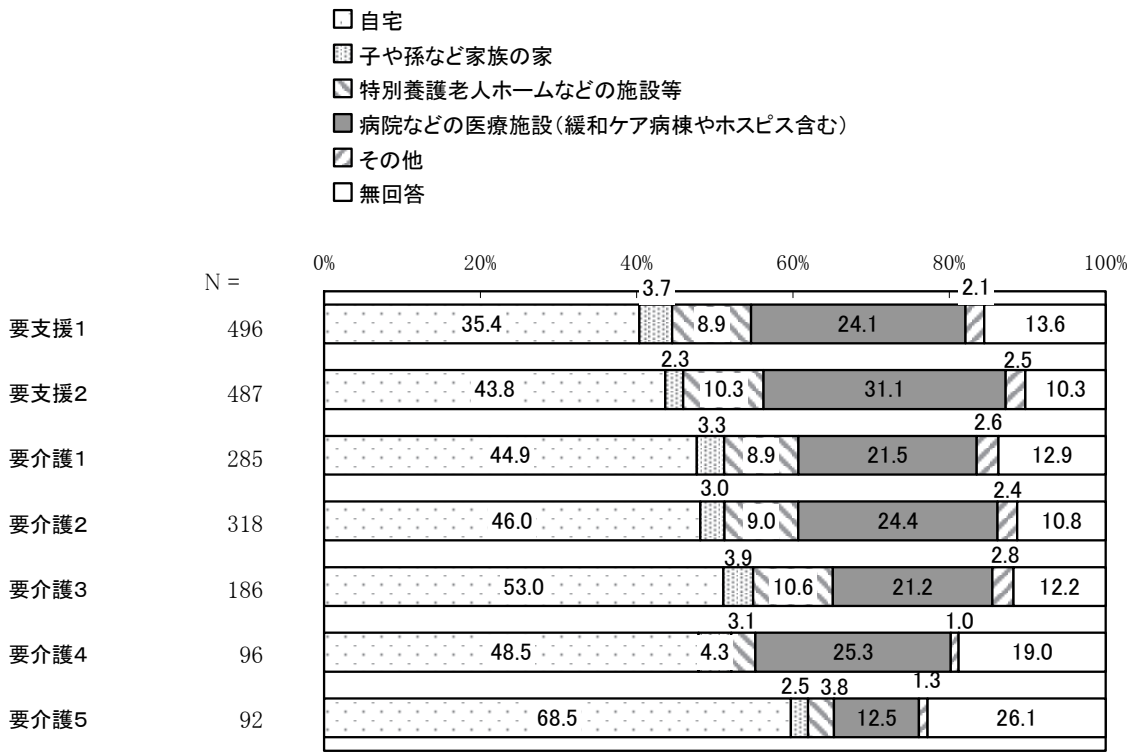
人生の終末を迎えたい場所については，「自宅」が 47.3%と最も高く，次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が 27.9%，「特別養護老人ホームなどの施設等」が 8.6%となっています。

要介護度別でみると，要介護度が上がるにつれて「自宅」の割合が高くなっています。

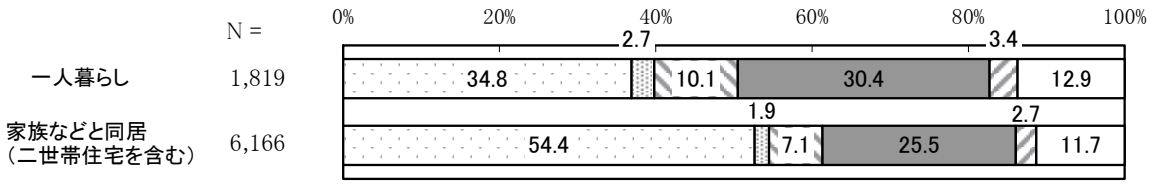
家族構成別でみると，「自宅」は，「家族などと同居」で 54.4%と，「一人暮らし」より 19.6 ポイント高くなっています。「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」は「一人暮らし」で 30.4%と，「家族などと同居」より 4.9 ポイント高くなっています。



【要介護度別】


自宅
子や孫など家族の家
特別養護老人ホームなどの施設等
病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）
その他
無回答
N =
0%
20%
40%
60%
80%
100%
要支援1 496
35.4 3.7 8.9 24.1 2.1 13.6
要支援2 487
43.8 2.3 10.3 31.1 2.5 10.3
要介護1 285
44.9 3.3 8.9 21.5 2.6 12.9
要介護2 318
46.0 3.0 9.0 24.4 2.4 10.8
要介護3 186
53.0 3.9 10.6 21.2 2.8 12.2
要介護4 96
48.5 3.1 4.3 25.3 1.0 19.0
要介護5 92
68.5 2.5 3.8 12.5 1.3 26.1

【家族構成別】


N =
0%
20%
40%
60%
80%
100%
一人暮らし 1,819
34.8 2.7 10.1 30.4 3.4 12.9
家族などと同居
（二世帯住宅を含む） 6,166
54.4 1.9 7.1 25.5 2.7 11.7

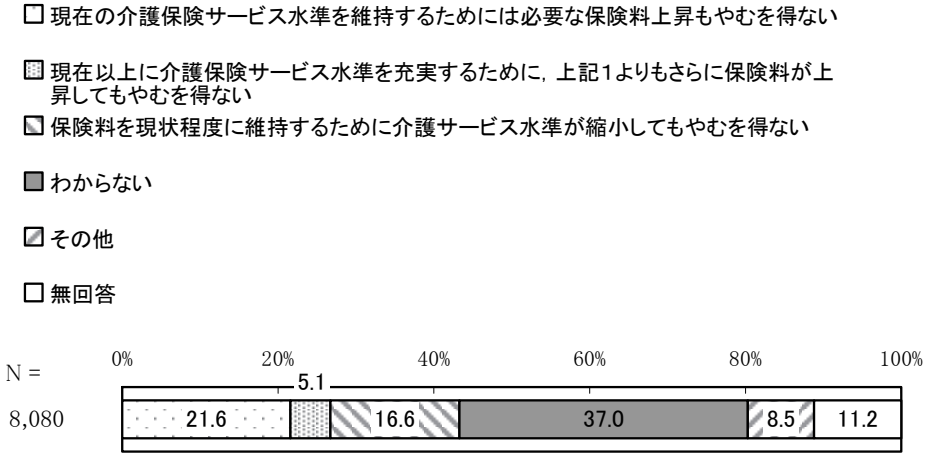
（７）介護保険料のあり方について

問 10Ｑ６．介護保険料は，介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても，介護サービスを利用する高齢者数が増加すると，介護保険事業全体の総費用は増加し，保険料が上昇することとなります。あなたは，今後の介護保険料と介護サービスのあり方について，御自身の考え方に近いものは次のどれですか。＜○は１つ＞

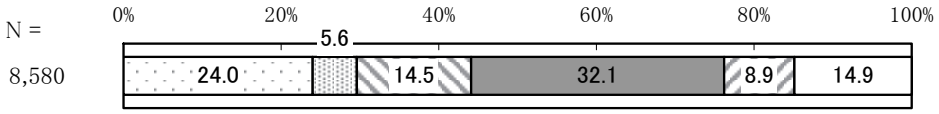
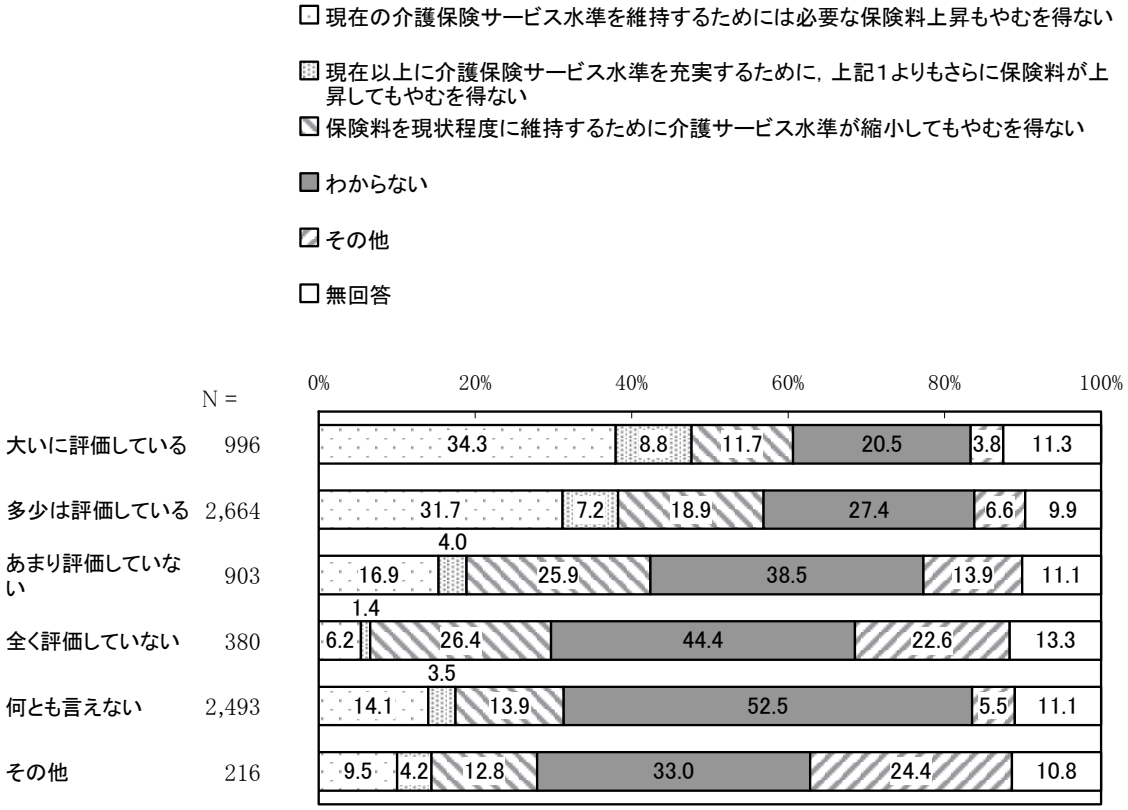
介護保険料のあり方については，「わからない」が 37.0％と最も高く，次いで「現在の介護保険サービス水準を維持するためには必要な保険料上昇もやむを得ない」が 21.6％，「保険料を現状程度に維持するために介護サービス水準が縮小してもやむを得ない」が 16.6％となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。

介護保険制度に対する評価別でみると，「大いに評価している」，「多少は評価している」人は，「現在の介護保険サービス水準を維持するためには，必要な保険料上昇もやむを得ない」と考える方の割合が高くなっています。一方，「あまり評価していない」，「全く評価していない」人は，「保険料を現状程度に維持するために，介護サービス水準が縮小してもやむを得ない」と考える方の割合が高くなっています。



【前回調査（平成 25 年）】



【介護保険制度に対する評価別】